

# 令和2年度 教育委員会の事務 に関する点検評価報告書



令和3年11月  
海津市教育委員会

## 目 次

I はじめに	・・・・・・・・ 1
(1) 趣旨	
(2) 点検・評価の対象	
(3) 点検・評価の方法と評価区分（基本施策ごとの評価について）	
(4) 点検・評価結果の構成	
II 教育委員会の会議及び教育委員の活動状況	・・・・・・・・ 4
(1) 会議の開催	
(2) その他の活動状況	
①教育委員の研修状況	
②教育委員の学校訪問等	
③総合教育会議への出席	
④教育委員の関係行事等への出席	
⑤広報活動	
III 教育委員会の施策 点検・評価	・・・・・・・・ 9
(1) 教育振興基本計画の基本理念	
(2) 基本的観点	
(3) 計画の体系	
(4) 内部進捗評価一覧表	
(5) 施策の総合点検評価	
IV 教育委員会の施策 外部評価	・・・・・・・・ 60
(1) 外部評価一覧表	
(2) 外部評価（学識経験による意見）	

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)」

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# I はじめに

## (1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「法」という）の規定により、平成20年4月1日から、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられています。

この法の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的として、海津市教育委員会の事務に関する点検及び評価を実施するものです。

## (2) 点検・評価の対象

平成31年3月に策定した「第2次海津市教育振興基本計画」における、教育委員会の所管となる6つの基本目標のもと20の施策を点検と評価の対象としています。

## (3) 点検・評価の方法と評価区分（基本施策ごとの評価について）

点検・評価は、教育振興基本計画に基づき長期的な視野に立って教育行政を推進していくためには、P（Plan：計画）、D（Do：実行）、C（Check：点検・評価）、A（Action：改善）のマネジメントサイクルによる進行管理の中で毎年度点検・評価を実施し、評価結果を十分に活用して次年度以降の具体的な事業を検討することが必要となります。そのため令和2年度に実施した事業の取り組み状況を明らかにするとともに、今後の課題と対応の方向性を示すこととしています。

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方から外部検証評価と意見、助言をいただきます。

## (4) 点検・評価結果の構成

### ア. 基本目標・施策・施策方針

海津市教育振興基本計画（第2次）に掲げる基本目標です。

### イ. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

基本目標・施策に関する進捗評価を実施しています。また、進捗評価の理由および今後の方向性についても記載しています。

進捗の評価区分 （4段階）	S・・・・・・・・予定以上に進んでいる。 A・・・・・・・・予定どおり進んでいる。 B・・・・・・・・少し遅れている。 C・・・・・・・・大幅に遅れている。
------------------	---

ウ. 参考とする指標

第2次海津市総合計画による参考とする指標を示しています。

エ. 基本施策に関する評価シート

20の施策に掲げたそれぞれの「基本施策」をシートに取りまとめています。

①基本施策〔取組目標 年度計画〕

各施策に掲げられた取り組むべき目標とその年度の計画を示しています。

②基本施策〔実績成果 課題〕

年度計画の実施に伴いその内容と成果及び課題等を示しています。

③内部評価

基本施策に伴う実績成果・課題を踏まえ4段階評価をしています。

◎・・・・・・・・十分達成

○・・・・・・・・おおむね達成

△・・・・・・・・やや不十分

×・・・・・・・・達成できず

# 記載事項説明書

第2次海津市教育振興基本計画における「基本目標」と「施策の方針」と「基本施策」

施策の総合点検評価		担当課	こども課	
基本目標	1 子ども・子育て支援の充実		外部 検証 評価	外部評価
施策	2 子育て家庭への支援の充実			
施策方針	すべての家庭が安心して子育てでき、育てる喜びを感じられるように子育て支援サービスを充実します。		評価 段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討
1. 施策の進捗状況		進捗の評価 S A B C		
進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など	
S	予定以上に進んでいる		進捗評価の理由および施策の方向性などを記載	
A	予定どおり進んでいる			
B	少し遅れている			
C	大幅に遅れている			
参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)				
成果指標		策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
地域子育て支援拠点 延べ利用者数		17,838人		15,000人
留守家庭児童教室利用者数		60人		360人
基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)		行政評価の実績値を記載		内部評価(所属課) ◎ ○ △ ×
多様な子育て支援サービスの充実				
取組目標	子育て支援ニーズを把握し、計画的に子育て支援サービスを支援できる体制を整備します。また、共働き世帯が働きながら安心して子どもを預けられるように低年齢児保育事業、延長保育事業、一時預かり事業、留守家庭児童教室事業などの多様な子育て支援サービスの充実に努めます。			
年度計画	Plan「P」(計画)			内部評価
実績成果	Do「D」(実行)			check「C」(評価)
課題	Action「A」(改善)			◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

重点的な取り組み「★」

## Ⅱ 教育委員会の会議及び 教育委員の活動

## Ⅱ 教育委員会の会議及び活動状況

令和2年度の教育委員会の活動について、「教育委員会会議」と「学校訪問」などの項目に分け、教育委員会自身による点検を行いました。

### (1) 会議の開催

教育委員会会議は、原則として毎月1回の予定で開催することとして、令和2年度の開催は14回、付議された議案は合計106に上りました。

以下、令和2年度の開催状況の詳細を報告します。

#### ○令和2年度教育委員会会議の開催状況

回数	期 日	案 件
第1回	令和2年 4月 3日(金)	2件
第2回	令和2年 5月20日(水)	21件
第3回	令和2年 6月15日(月)	8件
第4回	令和2年 7月20日(月)	11件
第5回	令和2年 8月18日(火)	5件
第6回	令和2年 9月18日(金)	8件
第7回	令和2年10月12日(月)	3件
第8回	令和2年11月18日(水)	7件
第9回	令和2年12月18日(金)	7件
第10回	令和3年 1月15日(金)	5件
第11回	令和3年 2月 8日(金)	11件
第12回	令和3年 3月 2日(火)	7件
第13回	令和3年 3月 8日(月)	1件
第14回	令和3年 3月26日(金)	10件
合 計		106件

#### ア 議案について

教育委員会の権限に属する事務の執行は、「海津市教育委員会教育長事務委任規則<sup>※1</sup>」第2に掲げるものを除き、その権限を教育長に委任すると定められていますが、一方で、同規則第3条は委任された事務についても重要かつ異例の事態が生じたときは教育委員会の決定に委ねるとしており、実際には重要事項の多くは教育委員会の会議の場で決定され、令和2年度に付議された議案は全て会議規則に従い適切に処理されました。

また、議事の終了後には事務局各課から事業の実績、進捗状況及び計画等について報告又は説明を行い、今日的な教育課題への対応等、共通の認識を持ちつつ理解を深めることと致しました。

海津市教育委員会教育長事務委任規則 (抜粋) ※1

(事務委任)

第2条 教育委員会は、次に掲げる事項を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。

- (1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 1件1,000万円を超える教育財産の取得を市長に申し出ること。
- (4) 県費負担教職員の懲戒及び任免その他の進退について内申すること。
- (5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (6) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め、及び懲戒を行うこと。
- (7) 県費負担教職員以外の学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関及び事務局の職員(臨時的任用職員及び非常勤の職員を除く。)の任免その他の人事に関すること。
- (8) 県費負担教職員以外の学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関及び事務局の職員(臨時的任用職員及び非常勤の職員を除く。)の懲戒に関すること。
- (9) 1件1,000万円以上の工事の計画を策定すること。
- (10) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃を行うこと。
- (11) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を市長に申し出ること。
- (12) 法律若しくは、これに基づく政令又は条例に基づき置かれている附属機関の委員又は委員を委嘱すること。
- (13) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (14) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。
- (15) 公文書の公開の決定に関すること。
- (16) 個人情報の開示、請求及び削除の決定に関すること。
- (17) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定による点検及び評価に関すること。

イ 議事について

簡易な事務手続き等の案件を除き、条例や規則の改正或いは事業計画の承認等、重要事項の審議は、問題意識を共有して事業効果の高い結果が得られるよう、事務局に詳細な説明を求め、活発な議論が展開されました。

また、事務局は、資料の提示や詳細な説明等、より多くの情報提供に努め、メリハリのあつる会議の運営に努めました。



(2) その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議以外にも研修や学校訪問等の実施或いは関連する教育団体との懇談などに参加しました。

①教育委員の研修状況

事業名	期 日	場 所	内 容
視察研修	令和3年1月15日(金)	関ヶ原古戦場記念館、海津市学校給食センター	社会教育分野等の施設を視察

②教育委員の学校等訪問

教育委員会会議の開催に合わせて、令和2年度においては市内の小・中学校等を訪問し、子どもたちの学びの様子や学校の運営方針、施設、教育環境、授業等、様々な視点で、その学校の良さや、抱えている課題などを把握することに努めました。

	期 日	訪問先等
6月	24日(水)	大江小学校
	25日(木)	東江小学校
7月	3日(金)	今尾認定こども園
	6日(月)	城南中学校
9月	10日(木)	下多度小学校
	15日(火)	城山小学校
	16日(水)	石津小学校
	24日(木)	石津認定こども園
10月	7日(水)	西江小学校
	9日(金)	高須認定こども園
	28日(水)	日新中学校
11月	5日(木)	吉里小学校研究発表会
	10日(火)	平田中学校
	17日(火)	高須小学校研究発表会
	19日(木)	海西小学校
	25日(水)	今尾小学校研究発表会

### ③総合教育会議への出席

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成27年度から「海津市総合教育会議」を設置しました。会議は市長と教育委員会で構成され、互いが十分な意思疎通を図り教育課題を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するために市長が招集するもので、以下のとおり開催され出席しました。

回数	期 日	場 所	案 件
第1回	令和2年9月18日(金)	海津市役所 東館 4-2会議室	2件
第2回	令和3年2月 8日(月)	海津市役所 東館 4-1会議室	2件

### ④教育委員の関係行事等への出席

	期 日	主要行事等	場 所
4月	7日(火)	小中学校「入学式」	各小中学校
	8日(水)	認定こども園「入園式」	各認定こども園
1月	28日(木)	教育研究大会(表彰式のみ)	文化センター
3月	5日(金)	中学校「卒業式」	各中学校
	25日(木)	小学校「卒業式」	各小学校
	26日(金)	認定こども園「卒園式」	各認定こども園

### ⑤広報活動

定期的に開催する教育委員会会議をはじめとして、その主な活動は、海津市ホームページで公開しました。

今後もより一層、市民の皆様のご理解とご協力を得るため、広報紙やホームページ等、既存のメディアの活用方法を工夫する必要があると考えています。

# Ⅲ 教育委員会の施策 点検・評価

【令和2年度の点検・評価にあたって】

・令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、やむを得ず事業を中止したケース等がありましたが、代替事業を工夫する等、コロナ禍を踏まえた取組や検討した事項について、実態に沿った点検評価としております。

## (1) 教育振興基本計画の基本理念

本市は、平成29年(2017年)3月にまちづくりの基本的な方向を示す「第2次総合計画」を策定しました。本市の優れた自然環境の中で、安心して子育てができ、働き、生活ができるまちとなるように、目指すべき将来像として「水と緑と人がきらめく 輪でつながるまち 海津」を掲げております。その中で、教育施策の柱として「個性と創造性を培うこころ豊かなまちづくり」を進めています。

一方、教育の一層の振興を図っていくためには、今後の本市の教育を見据えた基本的な方向を明確にするとともに、その実現に向けて、どのような教育施策を、どのように進めていくかを明らかにしていく必要があります。

そのため、海津市教育振興基本計画の基本理念を引き続き「いのちをつなぐ教育」として継承し、市民が心豊かな一人一人がともに生きる喜びを感じる教育を目指しています。

### 【基本理念】

## 「いのち」をつなぐ教育

心豊かな一人一人がともに生きる喜びを感じる教育

## (2) 基本的観点

### 世代をつなぐ 『世代がつながり 生き方を育む』

- ①「生きる力」の基礎を育み、自立できる力をつける。
- ②「生きる力」を育み、豊かな人間性を身につける。
- ③生きがいと共生を地域の中での学習活動を通して目指す。
- ④多様なニーズを要する子どもたちに学習支援の充実を目指す。

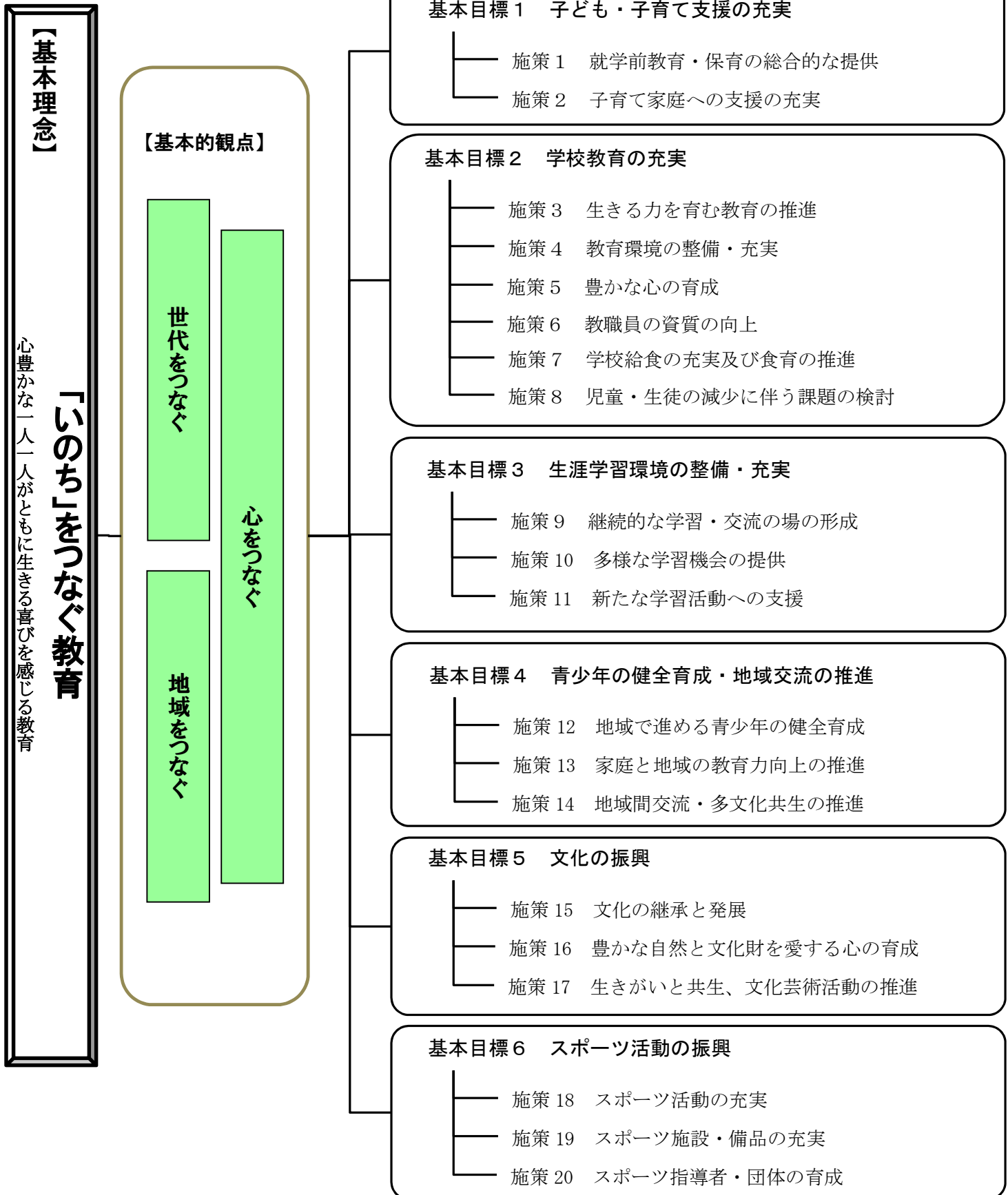
### 地域をつなぐ 『地域がつながり 生きる喜びを感じる』

- ①家庭の教育力を高めるための学習機会や情報提供を充実させる。
- ②地域がつながり、地域ぐるみで良好な環境づくりを進め、青少年の健全育成を進める。
- ③地域に根ざし、市民のつながりを生み出すスポーツ・レクリエーション活動の活性化を図る。
- ④歴史上や姉妹都市等、関わりのある市町とのつながり、交流を行い、地域づくりを進める。

### 心をつなぐ 『心がつながり 愛情と思いやりに溢れる人を創る』

- ①心のふれあいを大切に、温かい人間関係をつくる。
- ②海津の文化を愛し、継承・発展を進め、郷土を愛する心を育む。

(3) 計画の体系



## (4) 内部進捗評価一覧表

第2次海津市教育振興基本計画 「基本目標」		
【基本目標の施策】	担当課	
基本施策	進捗評価	内部評価
<b>「基本目標1」 子ども・子育て支援の充実</b>		
<b>【施策1】 就学前教育・保育の総合的な提供</b>	こども課	
① 認定こども園における幼児教育の推進	A	○
② 小学校との連携		○
③ 配慮が必要な子どもへの支援		○
④ 就学前教育・保育施設の整備		○
⑤ 保育教諭の資質向上		○
<b>【施策2】 子育て家庭への支援の充実</b>	こども課	
① 多様な子育て支援サービスの充実	A	○
② 相談体制の充実		○
③ 情報提供の充実		○
<b>「基本目標2」 学校教育の充実</b>		
<b>【施策3】 生きる力を育む教育の推進</b>	学校教育課	
① 「軸」を明確にした学校経営の推進	A	○
② 確かな学力を身につけることで「生きる力」を育む指導の充実		○
③ 基礎的な知識・技能を着実に身につける指導や取組の充実		○
④ 思考力・判断力・表現力などを育成する指導や取組の充実		○
⑤ 学びに向かう力を高める取組の充実		○
⑥ 多様なニーズを要する子どもに対応した教育機会の充実		○
⑦ 外国語活動の充実		○
⑧ キャリア教育の推進		○
⑨ 郷土学習の推進		○
<b>【施策4】 教育環境の整備・充実</b>	教育総務課・学校教育課	
① 学校施設の老朽化対策及び長寿命化対策の推進	S	◎
② 教育環境における情報機器設備の充実		◎
③ 安全な通学路の確保		○
<b>【施策5】 豊かな心の育成</b>	学校教育課	
① 道徳教育の充実	A	○
② 多様な体験活動の推進		○
③ 人権同和教育の推進		○
<b>【施策6】 教職員の資質の向上</b>	学校教育課	
① 「海津市教育のスタンダード」の活用	A	○
② 教職員研修の充実		○
③ 特別支援教育に関わる教職員の研修		○
④ 研究授業や公開授業、交流授業などの促進		○
⑤ 子どもと向き合う時間の確保		○
<b>【施策7】 学校給食の充実及び食育の推進</b>	教育総務課(給食センター)	
① 地域全体で取組む食育の推進	A	○
② 学校給食の充実		◎
③ 学校給食の衛生管理と事故防止の徹底		○
④ 学校給食センターの効率的な運用・整備		○
⑤ 学校における事務負担の軽減		△
⑥ 給食の提供における緊急対応		○
<b>【施策8】 児童・生徒の減少に伴う課題の検討</b>	教育総務課	
① 海津市小中学校の適正規模等に関する検討委員会の設置と協議	A	◎
<b>「基本目標3」 生涯学習環境の整備・充実</b>		
<b>【施策9】 継続的な学習・交流の場の形成</b>	社会教育課	
① 生涯学習ニーズの把握	A	○
② 学習情報の収集・整備		○
③ 社会教育施設などの整備とネットワーク化		△

第2次海津市教育振興基本計画 「基本目標」

【基本目標の施策】		担当課	
基本施策		進捗評価	内部評価
<b>「基本目標3」 生涯学習環境の整備・充実</b>			
【施策10】 多様な学習機会の提供		社会教育課	
① 生涯学習活動と指導者の育成	A	○	
② 生涯学習の意識啓発		○	
③ 図書館や歴史民俗資料館などの学習機関の機能充実		△	
【施策11】 新たな学習活動への支援		社会教育課	
① 学習活動を支援する人材の活用	A	○	
② 高齢者のもつ技能の伝承		○	
③ 学習機会の充実		△	
<b>「基本目標4」 青少年の健全育成・地域交流の推進</b>			
【施策12】 地域で進める青少年の健全育成		社会教育課	
① 「こども健全育成指針」の推進	A	○	
② 子どもの生活習慣の確立に向けた支援		○	
③ 組織的な活動の充実		○	
④ 青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上		△	
【施策13】 家庭と地域の教育力向上の推進		社会教育課	
① 「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進	A	○	
② 子育て学習の提供と家庭教育相談体制の充実		○	
③ 地域と連携した活動の充実		△	
【施策14】 地域間交流・多文化共生の推進		社会教育課	
① 交流教育の充実	B	△	
② 多文化共生の推進		△	
<b>「基本目標5」 文化の振興</b>			
【施策15】 文化の継承と発展		社会教育課	
① 指定文化財の保存・保護活用、後継者の育成	A	○	
② 文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究		○	
③ 文化資源の活用		○	
④ 文化財指定基準の運用		○	
【施策16】 豊かな自然と文化財を愛する心の育成		社会教育課	
① 文化財の情報発信と周知	A	○	
② 自然・歴史資源の発見と活用		○	
③ 歴史民俗資料館運営の充実		○	
【施策17】 生きがいと共生、文化芸術活動の推進		社会教育課	
① 市民文化活動への支援	A	○	
② 文化や芸術に親しむ機会の提供		△	
③ 市民参加型による芸術創作活動の奨励		△	
④ 多様な文化芸術活動の支援		○	
<b>「基本目標6」 スポーツ活動の振興</b>			
【施策18】 スポーツ活動の充実		スポーツ課	
① 子どものスポーツ活動の推進	B	△	
② 高齢者や障がい者スポーツ活動の推進		△	
③ 市民参加型スポーツ活動の推進		△	
④ スポーツ観戦機会の創出		○	
【施策19】 スポーツ施設・備品の充実		スポーツ課	
① 体育施設の充実	A	○	
② スポーツ備品の充実		○	
【施策20】 スポーツ指導者・団体の育成		スポーツ課	
① スポーツ団体の育成	A	○	
② 指導者の育成と確保及び活用		○	
③ 競技スポーツ活動の支援		○	

# 基本目標 1

子ども・子育て支援の充実  
(こども課)



(5) 施策の総合点検評価

担当課

こども課

基本目標	1 子ども・子育て支援の充実	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	1 就学前教育・保育の総合的な提供		
施策方針	子どもたちの「生きる力」の基礎を育て、心身の発達を促します。	評価 段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	研修会・研究会等を通じて、小学校・関係機関との連携を図り、市内全園において同一水準の幼児教育・保育を提供することができました。また少子化に伴い、「海津市公立認定こども民営化・統廃合計画」を策定し、施設の適正配置について方向性を決めました。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
特定教育・保育施設 延べ利用者数	1,050人	823人	800人
待機児童数	0人	0人	0人

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①認定こども園における幼児教育の推進

取組目標	子どもがのびのびと活動できる環境設定とふさわしい基本的な生活習慣、規範意識、道徳性が身につくよう指導計画や指導方法の充実を図ります。また、自然体験、生活体験、社会体験の学習機会の導入に努めます。	
年度計画	公立認定こども園では、指導主事訪問の実施や県主催の研修会に参加します。また園内研修を随時開催し指導計画や指導方法を学びます。園では、さまざまな体験活動を取り入れて、学習機会の充実を図ります。	内部評価
実績成果	公立認定こども園では、指導主事訪問や県総合教育センター・県保育協会を通じて研修会に参加し、保育教諭の資質の向上を図りました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止により活動が制限される中、実施方法を工夫して、英語教室やお茶会、人形劇鑑賞などを実施し、就学前の幼児教育・保育の質の向上を図ることができました。	○
課題	園内研修や各種研修の場に、すべての保育教諭が参加できる時間の確保が課題となっています。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

②小学校との連携強化

取組目標	幼保小連携協議会などを通じて、園児と児童の交流や教職員と保育教諭の交流を実施し、相互に子どもの発達や学びに対する理解を深め連携強化を図ります。また特別に配慮を要する園児については、関係諸機関と情報を共有し、途切れのない支援を繋げます。	
年度計画	各小学校に設置された幼保小連携協議会を通じて、園児と児童・教職員と保育教諭の交流を実施し、一層の相互理解を深め連携を図ります。市主催の幼児教育・保育研究会を通じて交流を深めます。特別に配慮を要する園児については、関係機関と連携して適切な支援に繋げます。	内部評価
★ 実績成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、園児と児童の交流が未実施となりましたが、就学児の情報交流は実施することができました。特別に配慮を要する園児についても関係機関と連携して職員間で情報共有し、適切な支援に繋げることができました。	○

課題	コロナ禍で、感染防止に留意して園児と児童の交流活動をどのように進めていくか検討が必要です。教職員と保育教諭との交流は、時間の確保が難しいため、実施方法について検討する必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず
----	---	--

### ③配慮が必要な子どもへの支援

取組目標	市発達支援センターが中心となり、巡回相談を通じて障がいなどの早期発見、早期支援に努めます。また、障がいのある子を受け入れるように、保育教諭などを加配する療育支援体制強化事業を促進します。	
年度計画	市発達支援センターくるみ主催の巡回相談（年2回）や自主研修会（年8回）を通じて、障がいなどの早期発見や適切な支援について情報を共有し、指導方法を学びます。障がいのある子を受け入れるよう療育支援体制強化事業を活用し、体制を整えます。	内部評価
実績成果	巡回相談や自主研修会を通じて、支援を必要とする園児への適切な支援方法を学ぶことができました。療育支援体制強化事業を3園が活用し、支援体制を整えることができました。	○
課題	集団生活において、支援を必要とする園児が増加傾向にあり、園児の様子を保護者へ伝えて情報共有を図る必要がありますが、保護者の認識との相違を解消し、適切な支援につなげていくことが課題になっています。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

### ④就学前教育・保育施設の整備

取組目標	人口減少に対応した市内全域における就学前施設の適正配置の検討を進めます。また、子どもが安全で安心して生活でき、災害発生時にも一時避難ができる安全な施設や設備の環境整備に努めます。	
年度計画	「海津市財政再生プログラム」、「海津市公共施設等総合管理計画・個別施設計画」を踏まえ、「海津市公立認定こども園民営化・統廃合計画」（案）を策定し、幼保連携型認定こども園の民営化と、協定期間が満了を迎えるこども園との統廃合を進めていきます。	内部評価
実績成果	令和2年9月に「今後の認定こども園の適正配置に関する方針」を示し、令和3年2月に今尾認定こども園と公私連携保育法人との協定期間が令和4年度末で満了となる秋桜こども園を統廃合し、新たなこども園を生涯学習センターをリニューアルし、令和5年4月開園を目指す内容を主とした「海津市公立認定こども園民営化・統廃合計画」（案）を子ども・子育て会議の場で審議し、議会へ報告後、パブリック・コメントを実施し、教育委員会を経て策定することができました。	○
課題	統廃合するこども園は、「生涯学習センター」を公私連携保育法人に移管し、公私連携保育法人において保育施設へリニューアルするため、社会教育課と連携して進めていく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

### ⑤保育教諭の資質向上

取組目標	就学前の子どもが同一水準で質の高い教育・保育を受けられるように、海津市幼児教育・保育研究会での研究・研修を進めます。また、認定こども園での教育・保育内容の充実を目指し、市の保育協会などによる各種研修や交流機会を充実し、保育教諭などの資質向上を図ります。	
年度計画	毎年テーマを決めて、市幼児教育・保育研究会を年5回開催し、研究・研修を進めます。また、市保育協会による研修会に参加し、公立・私立の保育教諭の資質向上を図ります。	内部評価
★ 実績成果	「表現する意欲を高める教育・保育」をテーマに市内全園の保育教諭と小学校教諭（代表3校）が研究会の場を通じて研修・意見交流を実施し、保育教諭の資質向上を図りました。	○
課題	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の休館・利用制限等により、保育協会主催の研修が実施出来ませんでした。今後は、オンラインやDVD研修等を導入する必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

施策の総合点検評価

担当課	こども課
-----	------

基本目標	1 子ども・子育て支援の充実	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	2 子育て家庭への支援の充実		
施策方針	すべての家庭が安心して子育てでき、育てる喜びを感じられるように子育て支援サービスを充実します。	評価 段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分	評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S 予定以上に進んでいる	A	「第2期海津市子ども・子育て支援事業計画」に沿って子育て支援施策を実施することが出来ました。今後は多様化する子育て支援ニーズへの対応や子ども家庭総合支援拠点の整備に向けて、健康福祉部と一体的な支援体制について検討を進めていく必要があります。
A 予定どおり進んでいる		
B 少し遅れている		
C 大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
地域子育て支援拠点 延べ利用者数	17,838人	13,344人	15,000人
留守家庭児童教室利用者数	360人	395人	360人

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①多様な子育て支援サービスの充実

取組目標	子育て支援ニーズを把握し、計画的に子育て支援サービスを支援できる体制を整備します。また、共働き世帯が働きながら安心して子どもを預けられるように低年齢児保育事業、延長保育事業、一時預かり事業、留守家庭児童教室事業などの多様な子育て支援サービスの充実に努めます。	
年度計画	「第2期海津市子ども・子育て支援事業計画」を推進するため、計画的に子育て支援サービスを提供できるよう体制を整えます。	内部評価
実績成果	全園において、低年齢児保育、延長保育、一時預かり事業を実施し、保護者が安心して子どもを預けて働ける環境を提供できました。また、今尾留守家庭児童教室が小学校内に移転したことにより、全教室が小学校の敷地内で開所し、小学校との連携及び保護者の利便性を図ることができました。	○
課題	「第2期海津市子ども・子育て支援事業計画」に掲げる子育て支援施策の環境は整備されていますが、少子化により数値目標が達成できない事業もあるため、数値の中間見直しの検討が必要となります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



高須認定こども園(すこやか園舎)



今尾認定こども園

## ②相談体制の充実

取組目標	地域子育て支援拠点事業を提供し、子育てに不安や悩みをもっている親に対する相談・援助の機能を充実します。また、市民が積極的に子育て支援に関わることを促進し、地域子育て機能の強化を図るとともに、子育てを支援する人材の育成に努めます。	
★ 年度計画	地域の身近なところで子育て相談や仲間づくりができる場として、市内10か所で地域子育て支援拠点事業を継続して実施します。	内部評価
★ 実績成果	未就園児とその保護者に対して親子の交流する場の提供、育児相談、子育て講座を実施しました。また、子育て支援センターかいづと健康課に子育て世代包括支援センター「りんく」を開設し、妊娠から出産、子育てに関して保育士と保健師が各支援機関と連携し、切れ目のない包括的な支援を提供することができました。	○
課題	子育て世代包括支援センターは、母子保健型と基本型の両輪で運営し、それぞれに専任職員を配置する必要がありますが、基本型は、保育士が兼務しているため、専任保育士を配置する必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

## ③情報提供の充実

取組目標	「海津市子育て支援ガイド」を定期的に作成し、子育てに携わる市民や転入者に配布し、子育て支援サービスの利用を促進します。また、本市での子育てに関する情報を発信するホームページ「海津市子育て支援サイト」の充実に努めます。	
年度計画	ホームページにおいて、子育てに関する情報を発信し、内容の充実に努めます。	内部評価
実績成果	ホームページ・市報・各子育て支援センターにおいて、子育て支援だより等を定期的に発信することができました。	○
課題	官民協働で、海津市子育て支援ガイドを定期的に作成する予定でしたが、協賛企業を募ることが困難な状況であるため、ホームページや市報・各子育て支援センターにおいて子育て情報を定期的に発信していく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



石津認定こども園



子育て支援センターかいづ(活動の様子)

# 基本目標 2

## 学校教育の充実

(教育総務課・学校教育課)

施策の総合点検評価

担当課	学校教育課
-----	-------

基本目標	2 学校教育の充実	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	3 生きる力を育む教育の推進		
施策方針	子どもたちが確かな学力を身につけることで「生きる力」を育み、豊かな人間性を育てていきます。	評価 段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	新型コロナウイルスの影響で2か月の臨時休業となった学校教育において、児童生徒の「心身の健康を守ること」「学力保障をすること」を大きな柱として学校経営を進めることができました。学校の新しい生活様式を徹底し、校長の学校経営案に基づいて、創意工夫し充実した学校教育が展開できるよう取り組みました。1人1台端末を貸与できることとなり、今後はこのICT環境を利活用し、さらに確かな学力が身に付くよう推進していきます。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
学校が楽しいと思っている児童・生徒の割合	80%	85.3(R1)R2調査なし	100%

学習状況調査結果より(対象:小6、中3)

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①「軸」を明確にした学校経営の推進

取組目標	学校の特色を活かし、目指す子どもの姿をもとに目標を掲げ、それを具現化に向けた「軸」を明確にした学校経営を行います。	内部評価  ○
年度計画	校長が「軸」を明確にした学校経営を行います。また、市教委訪問、生徒指導訪問などの機会を通して達成状況を見届け支援をします。	
実績成果	コロナ禍でしたが、各学校で校長が示す「軸」をもとに学校運営ができました。全ての小中学校に、市教委訪問と生徒指導訪問をそれぞれ1回ずつ行いました。学校訪問では、目指す子どもの姿を達成するための、教頭、教務主任、生徒指導主事の取組について説明を聞き、助言を行いました。	
課題	目指す子どもの姿の中で、児童生徒の自己肯定感が低いという課題があるため、学校訪問の機会に各学校の状況を見届け助言および指導をしていきます。	

②確かな学力を身につけることで「生きる力」を育む指導の充実

取組目標	学習のねらいを明確にし、「生きる力」を一人一人に対し育成していくための指導の工夫と充実を図ります。	内部評価  ○
年度計画	学習のねらいを明確にした、指導計画に基づいた教育を行います。また、各種指導計画の作成状況を確認します。	
実績成果	各学校で教育計画を作成し、その計画に基づいて学習のねらいを明確にした授業を行うことができました。新型コロナウイルス感染症の影響により4・5月の臨時休業で不足した授業時数は、土曜授業と夏休みの短縮で補うことができました。また、学校行事等の見直しが図られました。各種全体計画・指導計画について、全ての小中学校で作成したものをまとめることができました。	

課題	小学校は令和2年度から、中学校は令和3年度から全面实施となった新学習指導要領に基づいた指導計画の作成や指導内容の工夫を、見届ける必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず
----	--	--

③基礎的な知識・技能を着実に身につける指導や取組の充実

取組目標	子どもたちに、生きて働く知識・技能を身につけるために、誰もが分かる授業を展開していきます。また、間違いやすい学習内容の確実な習得を目指すため繰り返し学習を行います。そのためにコンピュータの活用をはじめ実態に応じた個別学習の充実を図るなどして知識・技能の習得に努めます。	
★年度計画	教師用デジタル教科書を導入し、誰もが分かる授業を展開します。小学校においても教科担任制を取り入れたたり、少人数指導を行ったりして知識・技能の習得に努めます。	内部評価
★実績成果	指導者用デジタル教科書と大型モニターを活用し、各教科の授業でデジタル教科書を使った授業を多く行い、視覚的にも分かりやすい授業を仕組むことができました。全ての小学校で教科担任制を実施しました。また、小学校の算数、中学校の数学・英語で少人数指導を実施し、教師の専門性を生かした授業や個に応じた授業を行うことができました。	○
課題	指導者用デジタル教科書と大型モニターを活用した分かりやすい授業をさらに推進するとともに、1人に1台貸与した学習者用端末を活用した個別最適化された学びの実現に努める必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

④思考力・判断力・表現力などを育成する指導や取組の充実

取組目標	国語をはじめ各教科などにおいて、記録、要約、説明及び論述などの言語活動を取り入れ、言語の力を高めるための学習環境の充実を目指します。また、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、学習者用端末や電子黒板などを活用し、様々な授業形態の工夫などの授業改善に努めます。	
年度計画	言語活動を取り入れた授業改善を図ります。学習者用端末や電子黒板などを活用し、様々な授業形態の工夫などの授業改善に努めます。	内部評価
実績成果	どの学校でも、考えの形成や話し合い活動等、言語活動を取り入れた授業を行い、校内研究を通して授業改善を図りました。1人1台学習者用端末が年度末までに導入され、それを活用した授業改善ができるよう教員研修を行いました。	○
課題	学習者用端末や大型モニターを活用した授業改善への取組に学校間で差がでないよう、研修を行い実践を共有化したり、授業公開をしたりして教員同士が学び合える機会を充実させる必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

⑤学びに向かう力を高める取組の充実

取組目標	独自の教材や学習環境を積極的に活用することで楽しい授業づくりを進めます。また、校外学習や体験活動の機会を増やすことや、専門性の高い外部講師を招くなど、子どもたちの学習に対する興味や関心を高めるように努めます。	
年度計画	校外学習や体験活動の機会の充実をめざし、バス利用の支援をします。	内部評価
実績成果	新型コロナウイルス感染症の影響で、校外学習や体験活動を当初の計画通り実施できないことがありました。また、バス利用についても乗車人数の制限が厳しくなり、例年よりも活用機会が減りましたが、可能な範囲で各学校のニーズに合わせて支援することができました。	○
課題	児童生徒の学習に対する興味・関心を高めるため、校外学習だけでなく、外部講師の活用やICTを活用した授業改善が推進されるよう指導援助していきます。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

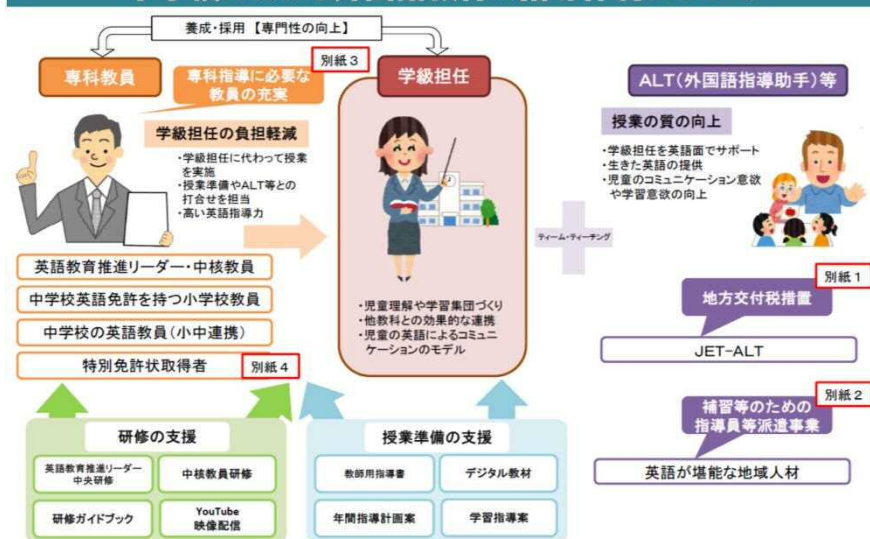
⑥多様なニーズを要する子どもに対応した教育機会の充実

取組目標	特別な支援を必要とする子どもたちが、可能な限り他の子どもたちと共に十分な教育を受けられるように多様で柔軟な仕組みを整備します。また、子どもたちが安心して教育を受けられる魅力ある学校づくりを推進するとともに、不登校の子どもに対する多様で適切な教育機会の確保に努めます。	
年度計画	特別な支援を必要とする子どもたちが、可能な限り他の子どもたちと共に十分な教育を受けられるように多様で柔軟な仕組みを整備します。また、子どもたちが安心して教育を受けられる魅力ある学校づくりを推進するとともに、不登校の子どもに対する多様で適切な教育機会の確保に努めます。	内部評価
実績成果	フレンドリールーム（適応指導教室）を開設し、3名の児童生徒が利用しました。学校との連携を密にすることで、学校と同一歩調の学習支援を行うなど、ニーズに応じた指導ができるようにしました。 日本語指導を要する児童に対応するため、日本語を指導する教職員を配置するとともに、在籍校すべてに翻訳機を支給して、指導に活用しました。	○
課題	児童生徒の居場所づくり、絆づくりの取組をさらに継続し、充実させます。 日本語指導を要する児童について、言語が多岐に渡るようになってきているため、翻訳機の活用とともに、日本語を指導する教職員のさらなる配置や、地域人材の活用の仕組みづくりを行う必要があります。	
		◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

⑦外国語活動の充実

取組目標	ALT（外国語指導助手）や小学校外国語活動インストラクターを配置して、外国語科や外国語活動の授業における子どものコミュニケーション能力（身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力）の向上に努めます。	
年度計画	中学校にはALT（外国語指導助手）、小学校には外国語インストラクターを配置します。（小学校英語科の授業へはインストラクターを各学年70時間の全時間配置する）	内部評価
実績成果	ALTを中学校では、毎週配置し、小学校では隔週で配置して、外国語でコミュニケーション能力を高める指導を行いました。特に小学校の担任だけでは、不十分な指導が難しい発音面などをALTが補うことができました。英語インストラクター研修を2回実施しました。指導方法の交流、先進校授業参観などを通じて研修を行いました。	○
課題	令和2年度より小学校5、6年生で外国語が教科になりました。授業における子どものコミュニケーション能力の向上のため、担任では指導が不十分な部分をALTや英語インストラクターを活用し、今後さらに充実した授業を図る必要があります。	
		◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

小学校における外国語教育の指導体制について



外国語教育の指導体制 文部科学省資料



⑧キャリア教育の推進

取組目標	受入事業所となる企業の協力により、子どもたちの望ましい勤労観・職業観や人生観を育てる体験を支援することで、職場体験学習の充実を図ります。	
年度計画	中学校2年生時に1週間の職場体験を全中学校で実施できるように支援します。	内部評価
実績成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業所での職場体験を断念し、各学校でのキャリア講座に切り替えました。学校に事業所から講師を招き、話を聞いたり体験したりする活動を行いました。仕事の内容に興味を持ち、働く喜びや仕事のやりがいを学ぶというねらいはある程度達成できました。	○
課題	今後も1週間の職場体験学習を継続することを前提に準備するとともに、職場体験ができない場合、生徒の望ましい職業観を育てるためにオンライン授業、体験講座等、様々な方法について検討し工夫する必要があります。	
		◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

⑨郷土学習の推進

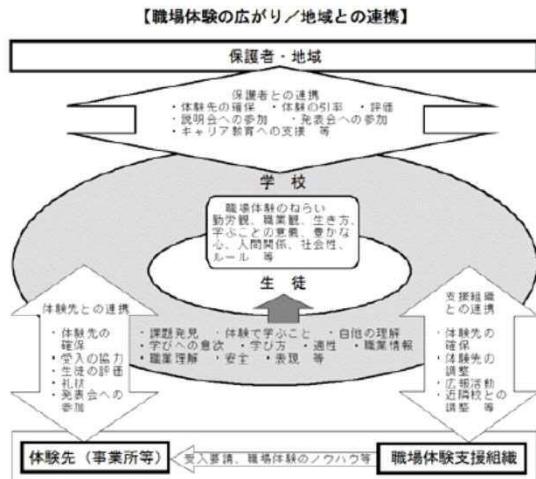
取組目標	ふるさと海津の歴史や自然に触れ、地域について学ぶことを通して郷土愛を育むための地域教材として「海津市郷土学習の手引き」の活用を目指します。	
年度計画	海津市郷土学習の手引きを活用した授業の推進します。活用した授業の実施率を高めます。	内部評価
実績成果	「海津市郷土学習の手引き小学校1年生～4年生版（身の回りの自然を調べよう）」は、多くの小学校の低学年の生活科や中学年の理科で活用できました。	○
課題	小学校高学年や中学校においても、「海津市郷土学習の手引き」を活用して地域について学ぶことができるよう、各学校に活用について啓発する必要があります。	
		◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

西江小学校が『低い土地のくらし』という本で紹介されました。



【職場体験のポイント】

- (1)ねらいの設定
- (2)実施計画の立案
- (3)体験先、保護者との
- (4)事前指導の充実
- (5)実施期間中の指導
- (6)事後指導の充実
- (7)評価



2019年3月発行 わたしたちのくらしと国土（金の星社）『低い土地のくらし』という本で14ページから25ページまでわたって、「高橋編中」と題して、岐阜県海津市が紹介されています。

22ページ左下に、「輪中のなかの小学校」として西江小学校も掲載されました。

写真では、農産物の販売や、一人に一言ずつ学んでいるタイムジャケットも紹介されています。

郷土学習（低い土地のくらし 西江小学校）

職場体験学習 文部科学省資料

施策の総合点検評価

担当課 教育総務課 ・ 学校教育課

基本目標	2 学校教育の充実	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	4 教育環境の整備・充実		
施策方針	子どもたちの安全・安心を確保し、超スマート社会（Society5.0）の実現に向け質の高い教育を支える教育環境の整備・充実を図ります。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	S	新型コロナウイルスの感染拡大を経験する中、改めて学校が、学習機会と学力を保障する役割のみならず、児童生徒にとって安全・安心な居場所を提供するという福祉的機能、児童生徒の社会性・人間性を育む社会的機能を有するなど、これまで当たり前のように存在していた学校の持つ役割・在り方を再認識しました。また、GIGAスクール構想の整備に伴う遠隔・オンラインによる教育の有効性を認識する一方で、実験・実習等の機会や児童生徒同士の学び合う場面、未知の課題に対してチームで協力しながら解決策や新たなアイデアを生み出す「共創」が必要な場面などにおける対面指導の重要性においても改めて認識しました。このような観点から、ポストコロナ時代において、児童生徒がともに集い、学び、生活する学校施設という実空間の価値を捉え直す必要があります。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①学校施設の老朽化対策及び長寿命化対策の推進

取組目標	各施設の劣化状況を把握するため、建築基準法に基づく点検を実施します。そして、今後の児童生徒数の推移を勘案しつつ長寿命化計画を策定し計画的な施設整備を推進します。また、学校施設の非構造部材の耐震化を着実に進め、必要に応じた洋式トイレウォシュレット化の充実を図ります。	
年度計画	教育環境の維持向上のため施設の計画的な整備を推進し、洋式トイレウォシュレット化の充実を図ります。	内部評価
★実績成果	洋式化率が低い学校（高須小・東江小・大江小・今尾小・海西小）のトイレ改修を行うことで、子どもたちの教育環境の改善を図ることができました。また、国のGIGAスクール構想の前倒しによる事業において、高速大容量通信ネットワーク整備を全ての小中学校に施し事業を完了しました。新型コロナウイルス感染予防のため、全ての小中学校において、児童生徒が日常的に使用する水道蛇口のハンドルをレバーハンドルに取り替えました。	◎
課題	ICTの先端技術の高度化等により、Society5.0時代が到来しつつあり、学びには多様化していることから、児童生徒の主体的な活動を喚起し、求められる学び・活動の変化に柔軟に対応できる空間にするための創意工夫ある整備を推進する必要があります。また、新型コロナ感染症の拡大防止の観点から、学校での新たな生活様式も踏まえ健やかに学習・生活できる衛生環境の整備を行う必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



着工前



完成

高須小学校 トイレ改修工事（男子トイレ）



着工前



完成

高須小学校 トイレ改修工事（女子トイレ）

## ②教育環境における情報機器設備の充実

取組目標	子どもたちの発達に段階に応じた情報活用能力の育成に努めます。そして、電子黒板などの活用をはじめとするICT機器を活用した教育や体験活動の充実を図ります。また、ICT機器やデジタル教材の活用に向けた教職員の研究体制や指導体制の充実を図ります。	
★年度計画	小学校の教科書改訂に伴い、全小学校に教師用デジタル教科書の導入を図ります。また、デジタル教科書の活用に関する夏期研修会を計画します。	内部評価
★実績成果	大型モニターをすべての普通教室に配置することができました。令和3年度4月より1人1台学習者用端末を貸与できるよう準備できました。 小学校の教科書改訂に伴い、全小学校に教師用デジタル教科書の導入しました。また、デジタル教科書が各学校で活用できるようサポートを行いました。大型モニターを活用し教師用デジタル教科書を取り入れた授業を行うことができました。教職員に対してICT研修を3回行いました。	◎
課題	1人1台学習者用端末を貸与し、一斉に家庭と学校でオンラインで授業ができるか確認する必要があります。学習者用端末を利活用できるように、教職員の研修や指導体制をさらに充実していく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

## ③安全な通学路の確保

取組目標	交通事故の抑止や登下校防犯の推進を図るとともに、児童生徒の安全で安心な通学路の確保に向けた環境整備を関係機関と協力しながら推進します。	
年度計画	児童生徒の安全で安心な通学路の確保のため、「海津市通学路安全推進会議」を開催し対策を実施します。また、養老鉄道(株)と連携し「かいづっち養老鉄道応援パスポート事業」を進めます。	内部評価
実績成果	市内の通学路について児童生徒がより安心して登下校が行えるよう、通学道路の安全対策を推進するため、2回の会議を開催しました。また、通学路危険箇所対策内容を公表しました。 通学路の安全支援の一環として、引き続き養老鉄道(株)と連携し、通学する子どもたちに対し、年間、5,000円の負担で乗車できるパスポート事業を実施しました。(R2年度実績：214枚 発行)	○
課題	通学路の安全確保については、子どもたちが通学する道路において、既に横断歩道など交通規制がありながら交通マナーの低下による危険性が指摘されています。また、対策箇所も多く存在するため、多額の予算措置が必要となります。予算の確保については、関係機関に働きかけるとともに、限られた予算の中で、対策を講じる必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



タブレット端末を利用した授業(平田中学校)



通学路安全推進会議

# 施策の総合点検評価

担当課	学校教育課
-----	-------

基本目標	2 学校教育の充実	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	5 豊かな心の育成		
施策方針	心のふれあいを大切にしたい温かい人間関係を通して、子どもたちの豊かな心を育みます。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

## 1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分	評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S 予定以上に進んでいる	A	コロナ禍において、新しい生活様式を徹底し、仲間の命を大切にする行動について丁寧に指導してきました。年間を通して人権同和教育も含め、「よいこと見つけ」を継続的に行うなど、思いやりの心を育むことができ、新型コロナウイルス感染症に関わる差別はありませんでした。
A 予定どおり進んでいる		
B 少し遅れている		
C 大幅に遅れている		

## 2. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

### ①道徳教育の充実

取組目標	人としてよりよく生きる力を育むため、その基盤となる道徳的心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う道徳教育を「特別の教科 道徳」をはじめ教育活動全体を通して推進します。そのためにも、保護者や地域との連携を深め、子どもの道徳性を地域社会全体で高める道徳教育を実施します。	
★年度計画	「特別の教科 道徳」の授業の充実を図ります。より良く生きる力を育むために自分をみつめる時間を大切にします。	内部評価
実績成果	新学習指導要領のもと「考える道徳」「議論する道徳」を目指して取り組みました。平田中学校での授業公開をもとに、小中連携して道徳教育を進めるための研究会を行いました。	○
課題	さらに、多面的・多角的な考え方を引き出し、生き方について考えを深めることができるように、考え議論する道徳の授業を実践する必要があります。また、今日的な課題として、情報モラル教育にかかわる価値項目に重点をおく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

**道徳教育の抜本的改善・充実**

道徳の時間の確保例

- 「道徳の時間」は、各教科等に比べて軽視されがち
- 読み物の登場人物の心情理解のみに留った形式的な指導
- 発達段階などを十分に踏まえ、児童生徒に馴染み深いと思われる分かりきったことを書かせたり書かせたりする授業

教育再生実行会議の提言や中央教育審議会の答申を踏まえ、「道徳の時間」(小・中学校で週1時間)を「特別の教科 道徳」(「道徳科」)(9/5継続書1時間)として新たに位置付ける学習指導要領の一部改正

具体的なポイント

- 道徳科に検定教科書を導入
- 内容について、いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なものに改善
- 「個性の伸長」「相互理解・寛容」「公正、公平、社会正義」「国際理解・国際貢献」「よりよく生きる喜び」の内容項目を小学校に追加
- 問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れ、指導方法を工夫
- 数値評価ではなく、児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握し、記述による評価を実施

「考える、議論する」道徳科への転換により児童生徒の道徳性を育む

平成27年度から、一部改正学習指導要領の編纂を踏まえた取組可能

小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から、検定教科書を導入して「道徳科」を実施



道徳教育の充実(文部科学省資料)

## ②多様な体験活動の推進

取組目標	各学校の実態に応じ、各教科や総合的な学習の時間、特別活動など教育活動全体を通じて、自然体験、社会体験、ボランティア体験、異学年や高齢者との交流活動などの体験的・実践的活動を推進し、子どもの豊かな感性や情操を育みます。	
年度計画	各学校の実情に応じて、体験的学習を充実させます。	内部評価
実績成果	新型コロナウイルス感染症の影響で、体験的学習や学校外の人との交流活動などが制限され、計画していた内容を変更したり縮小したりせざるを得ませんでした。そんな中でも、感染症対策を確実にしながら、体育的行事や文化的行事を、児童生徒とともに工夫しながら実行することができました。	○
課題	感染症対策を踏まえて体験活動の内容や方法を工夫したり、カリキュラムマネジメントの視点から計画を見直したりする必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

## ③人権同和教育の推進

取組目標	人権尊重と人間平等の基本理念を確立するとともに、人と人との間に存する偏見を解消する指導を行い、不合理な差別をなくし、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる教育を推進するように努めます。また、家庭及び地域社会において人権意識の高揚を図ります。	
年度計画	人権について考える集会をどの学校でも実施します。また、人権の取り組みに対する報告集を作成します。	内部評価
実績成果	コロナハラスメントについて考え、話し合う時間を継続的に行いました。年間を通じて「よいこと見つけ」等を継続的に取り組み、自分や周りの人を大切にしている心情を育む教育を推進しました。全校で取組について発表したり、人権について考えたりする「ひびきあい集会」を全校で実施しました。これらの取組や教職員の研修について、報告集としてまとめました。	○
課題	LGBTの問題やインターネットによる人権侵害などに加えて、今後も新型コロナウイルス感染症による差別問題など、今日的な人権課題について取り組んでいく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



人権同和教育(岐阜県資料)

施策の総合点検評価

担当課

学校教育課

基本目標	2 学校教育の充実	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	6 教職員の資質の向上		
施策方針	個々の教職員の力量と組織での対応力の向上を図ります。	評価 段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	コロナ禍の中で、人を集めての研修は自粛しましたが、校内研修などを充実させ、できる限りの研修を行うことができました。1人1台学習者用端末が導入されることを受けて、ICT活用研修を充実することができました。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①「海津市教育のスタンダード」の活用

取組目標	誰もが実践でき、誰にも力をつけることができる指導理念である「海津市教育のスタンダード」の理解と実践を図ります。また、学級経営力、授業力を高めるために、小中学校教員が互いの教育課程や指導内容のつながりを把握し、義務教育9年間で児童生徒を育てます。	
年度計画	授業における各校のスタンダードを作成し、スタンダードをもとにした授業を実践する。	内部評価
実績成果	各学校で授業のスタンダードが作成され、どの学級でもどの担任でも共通して実践することを明らかにし、学校としての統一感のある授業づくりが行われました。教務主任会などでは、各学校の取組内容を交流し、自分たちの学校の指導に生かすことができました。	○
課題	1人1台学習者用端末が導入されたことを受けて授業改善が求められており、時代に合ったスタンダードになるよう、毎年見直していく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

②教職員研修の充実

取組目標	「海津市教育研究所」を核として、教職員の経験や時代の変化に応じた研修の充実を図ります。また、教員としての専門性や今日的な教育課題への対応力を高めるため、大学などの関係機関との連携を強化します。	
年度計画	市教育研究所が主催する研修を充実させます。教職員の指導力を向上させるためのオンデマンド研修を充実させます。	内部評価
★ 実績成果	市教育研究所が主催した「中堅幹部研修」「若手人材養成研修」「バディ研修(2年目研修)」では、キャリアステージに応じた研修を行いました。全教職員を対象とした希望制の夏期講座は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでしたが、1人1台学習者用端末の活用に向けて、ICT活用研修を3回行うことができました。	○
課題	今後も、ICT活用やふるさと学習など、より学校現場のニーズに応えた研修内容を企画する必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

③特別支援教育に関わる教職員の研修

取組目標	特別支援コーディネーターなどを中心として、園・学校の全職員が計画的な研修を行う事を通して、特別支援教育に対する理解を深めるとともに、就学前から園や特別支援学校との連携も図りつつ、組織的な動きを支援します。	
年度計画	教育支援委員会を開催し、情報交流を図ります。 園・学校ごとに計画的な研修を行い、実践内容を報告します。	内部評価
実績成果	7月と10月に教育支援委員会を開催し、適正な就学指導について情報交流を行いました。年間を通じて継続的な支援を行うことができるよう、各園・各校で特別支援教育についての研修を行い、全職員が特別支援教育について理解を深められるようにしました。	○
課題	個別の支援を必要とする園児児童生徒が年々増加していることや、教育的ニーズが多様化していることを踏まえ、一人一人に応じた適切な支援を確実に伝えるよう、実践力を高める必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

④研究授業や公開授業、交流授業などの促進

取組目標	市内小中学校での公開授業の参加や、就学前と小学校、小学校と中学校との交流授業を促進することや、中一高との連携を図るなど、教育の資質向上に努めます。	
年度計画	毎月の研究授業の一覧を作成し、それを活用した授業交流を促進します。 園小の交流を充実させます。	内部評価
実績成果	各学校の研究授業について、市教育研究所で一覧にまとめて各学校に配付し、他校の研究授業に積極的に参加するよう働きかけました。コロナ禍において、多くの教員を集めての授業研究会や研究大会を実施することができませんでしたが、教育委員さんの参観や紙面提案をするなど工夫して成果発表をしました。また、園小連携協議会を2回実施し、意見交流を行いました。	○
課題	コロナ禍においても教育の質の向上を目指すために、ICT環境を活用し、オンラインの授業参観や研究会などが実施できるよう工夫していく必要があります。園一校の授業参観や交流をさらに推進していきます。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

⑤子どもと向き合う時間の確保

取組目標	教職員の事務負担の軽減は、教職員が授業や授業準備などに集中し、子どもと向き合う時間を確保するとともに、心身の健康を損なうことがないように、教職員の勤務時間及び内容に関する実態改善に向けた総合的・計画的な取組みを推進します。	
年度計画	休日を含めた時間外勤務時間を正確に把握します。 時間外勤務時間 月80時間以上の職員の心身の健康状態を確認し、働き方改革を進めます。	内部評価
★ 実績成果	勤怠時間管理システムによって、全職員の時間外勤務について正確に把握します。時間外勤務が45時間を超えた職員については、管理職が面談して事後検証を行っています。また、全学校で留守番電話を導入し、休日や夜間の電話対応についての負担を軽減しました。スクールサポートスタッフ事業を9月から行いました。教職員には、毎月ストレスチェックシートを活用し、管理職によるメンタルケアに努めています。	○
課題	働き方改革は着実に進められており、時間外勤務時間は減少してきていますが、時間外勤務時間が多い職員が少数いたり、多忙期の業務削減が難しかったりする状況があります。さらに勤務の適正化を図るため、これまでの慣例にとられない思い切った業務の削減が必要です。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

施策の総合点検評価

担当課

教育総務課（給食センター）

基本目標	2 学校教育の充実	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	7 学校給食の充実及び食育の推進		
施策方針	子どもたちが自ら健やかな体をつくることに関心を持ち、積極的に健康や食生活にかかわる態度を育成します。また、学校給食の公会計事務化の実施や故障などによる緊急時の対応策を図ります。	評価 段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対応による学校の休校にも対応し、給食再開後は、各小中学校でのコロナ感染症に対応した給食時間のもち方の実態把握に努めるとともに、より安全な給食の提供を行うことができました。今後も衛生管理を徹底し、安全・安心な給食を提供するとともに、学校、地域、家庭とつながり、給食内容を充実させ、食育推進を図っていきます。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①地域全体で取組む食育の推進

取組 目標	学校年間指導計画に基づき、学校・園、家庭、地域が連携して、次代を担う子どもの望ましい食習慣の形成に努めます。また、学校における食育を推進するために、学校給食の教育的意義を見直すとともに、学校の教育活動全体で食に関する指導の充実を図ります。	
年度 計画	学校・園、家庭、地域が連携して、子どもたちの望ましい食習慣の形成に努めます。また、学校の教育活動全体で食に関する指導の充実を図ります。	内部評価
★ 実績 成果	<p>コロナ禍に伴い、子どもたちと生産者の方との交流の場がなくなりました。それに代わる対応として、食に関する資料（生産に関わる苦労や工夫など）を通じ、郷土愛や地元への関心を高めることができました。また、地元生産者からの野菜の無償提供についても、小中学校に情報提供を行うとともに、生産者も学校給食の取組に理解を深めることで生産への意欲につながってもらうことができました。</p> <p>給食再開後は、各小中学校でのコロナ感染症に対応した給食時間のもち方の実態把握に努め、各担当教職員と連携を図りながら、より安全な給食の時間のもち方について協議を重ねました。</p> <p>コロナ禍の長期休業中には、家庭で、子どもたちだけでも親子でも楽しむことのできるような、市の食育テーマ「もっと野菜を食べよう」を重点においた、野菜のクイズ等を盛り込んだ「食育だより」を5回発行しました。</p>	○
課題	小中学生の食育の推進を図るためには、給食時の様子や食生活アンケートなどを通じて、子どもたちの実態把握に努めるとともに、学校・園・家庭・地域が連携して情報共有を行い、市全体の食育推進に取組む必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



海津市学校給食センター（平田町今尾地内）



## ②学校給食の充実

取組目標	郷土料理や外国料理だけでなく、時代の要請に即した献立を取り入れ、栄養バランスの取れた魅力ある学校給食の提供を目指します。また、地場産物の活用を図り食育の生きた教材となる学校給食の充実を図ります。	
年度計画	日本各地の郷土料理や外国料理のほか、地場産物の活用を積極的に取り入れ、学校給食の充実を図ります。	内部評価
★ 実績成果	大垣公設市場の担当者と県内産野菜の給食への使用拡充に向けて協議を行った結果、地場産物の使用割合が昨年度より5%程増加し、国の目標値（地場産物使用割合3割）を達成することが出来ました。 海津市産物（加工食品含む）については、献立に定期的に取り入れるとともに、毎月の献立表に海津市食材を使った献立レシピを掲載するなど、子どもたちや保護者にもその食材が定着し、家庭でも手軽に使ってもらえるよう試みました。 また、中学生にリクエストメニューの希望調査を実施し、上位にあがったものを給食に取り入れるなど、子どもたちが学校給食にもっと関心をもつことで、「給食は自分自身の成長や健康維持増進のために欠かせないものであり、意識してしっかり食べる。」につながられるようにしました。	◎
課題	子どもたちが、海津市の産物について興味・関心をもち、郷土愛を持続してもつことができるよう、JAや生産者と連携を図り、積極的に海津市産を取り入れることで、学校給食の充実を図る必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

## ③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底

取組目標	衛生管理や事故防止の徹底を図るため、給食施設や調理機器の適正な管理にあたるとともに、さらに給食調理員や学校給食職員の徹底した衛生管理のうえで安全で安心な給食を提供します。	
年度計画	衛生管理や事故防止の徹底を図り、給食施設や調理機器の適正な管理にあたり、給食調理員や学校給食職員の徹底した衛生管理のうえで安全で安心な給食を提供します。	内部評価
実績成果	「学校給食衛生管理基準」に基づき、策定した「海津市学校給食センター衛生管理マニュアル」により、常に意識し、問題箇所を確認し、改善を行うことができています。給食調理員の衛生管理の意識の向上につながることができています。	○
課題	委託業者を含めた全職員が「海津市学校給食センター衛生管理マニュアル」を遵守し、衛生管理や事故防止の徹底を図る必要があります。 食品への異物混入に対し、納入業者・製造業者へ指導強化に努める必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

## ④学校給食センターの効率的な運用・整備

取組目標	学校給食の質の維持を図りながら、より効果的な給食調理業務・配送業務の運用を実施するために民間委託化を継続します。また、安全で安心な学校給食の提供に努めているものの、機械の稼働保証期間経過後の故障や経年劣化による施設修理費の増加が見込まれる中、さらに運用費の抑制に努めます。	
年度計画	学校給食の質の維持を図りながら、より効果的な給食調理業務・配送業務の運用を実施するために民間委託化を継続する。また、安全で安心な学校給食の提供に努めているものの、機械の故障などによる施設修理費の増加が見込まれる中、水道光熱費などの削減に努め、運用費の抑制に努めます。	内部評価
実績成果	調理・配送等の業務を平成31年4月1日から令和6年3月31日までの5年間委託をしております。委託業者には、前年度に引続き電気・ガス・水道水の適切な使用とその削減に努めてもらい、給食設備や調理機械の故障・不具合等が発生した際には、その都度、報告・連絡・相談により早期対応を実施することができました。	○
課題	給食設備・調理機械において、耐用年数の10年を超えて使用しており、老朽化による不具合等も生じてきていることから、計画的な更新が必要となっております。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

⑤学校における事務負担の軽減

取組目標	教職員の働き方改革として、教職員の事務負担の軽減に向けた、業務の役割分担・適正化を進めるため給食費の公会計事務化の調査・研究を進めます。	
年度計画	教職員の働き方改革として、教職員の事務負担の軽減に向けた、業務の役割分担・適正化を進めるため給食費の公会計事務化の準備を進める。	内部評価
実績成果	月毎に給食費を計算し、各学校・各園に納付書を発行しています。徴収事務については、納付書をもとに、学校と園が行っています。なお、徴収事務の公会計化については、他市町の状況把握をすると共にシステム導入に必要となる費用算定を行いました。	△
課題	公会計化導入には、人員の確保とシステム導入に係る財源の確保が必要となります。また、導入した他市町村の状況から、滞納者の増加が見込まれます。給食費の無償化につきましても、県下及び西濃圏域の自治体の状況を鑑み、無償化の実施（対象者及び実施時期）を見極める必要があります。	

⑥給食の提供における緊急対応

取組目標	給食設備や調理機械などの故障による迅速な復旧体制や、故障時における学校給食の提供にむけた緊急時の対応策について調査・研究を進めます。	
年度計画	給食設備や調理機械などの故障による迅速な復旧体制や、故障時における学校給食の提供にむけた緊急時の対応策について調査・研究を進めます。	内部評価
実績成果	4月・5月は、新型コロナウイルス感染症対応に伴い、学校が休校となったため給食の提供を行うことが出来ませんでした。給食再開後は、給食設備・調理機械等の故障は無く、給食を予定どおり提供できました。なお、委託業者とは、機械の故障・不具合等が発生した際の早期の連絡や、新型コロナウイルス感染症拡大防止・気象警報が発令された際の学校の休校連絡などにおいて連携を図ることができました。	○
課題	給食が提供できない場合は、備蓄の代替品（R元年度購入した救急カレー）などでの対応となりますが、備蓄量に限りがあり、日数がかかる場合には弁当持参も考慮する必要があります。また、給食設備・調理機械の保守点検等により、状況把握をする必要があります。	



間隔を開けた給食配膳



農事組合法人平原営農さんより「たまねぎ」を無償提供

施策の総合点検評価

担当課	教育総務課
-----	-------

基本目標	2 学校教育の充実	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	8 児童・生徒の減少に伴う課題の検討		
施策方針	今後、少子化が進むことが予想される中、義務教育の機会均等や教育水準の維持・向上の観点を踏まえ、学校規模の適正化や学校の小規模化に伴う諸問題への対応について継続的に検討していきます。	評価 段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	小中学校適正規模等基本方針に基づき、中学校については、現状の学校規模等を堅持することとし、小学校については、1学年2学級以上を理想としながらも、必要となる学校規模は、少なくとも1学年1学級以上とし、既に複式学級が存在している学校については、学校統合を方策として進めるとしていた。最終的に、海津町地域5校の小学校については、令和6年4月に新設統合する方向で取りまとめることができた。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①「海津市小中学校の適正規模等に関する検討委員会」の設置と協議

取組 目標	児童生徒の減少が進む中で、学習環境の充実、指導の充実、教育水準の維持向上を図る観点から学校規模の適正化や学校の小規模化に伴う諸問題への対応について継続的に協議します。	内部評価
年度 計画	小学校の小規模化への対応の方策や解消に向けて、保護者や地域住民との共通理解を図りながら、子どもたちの教育条件の改善を中心に進めていきます。	
★ 実績 成果	新型コロナウイルス感染症による検討協議の遅延も予想される中、令和2年6月に海津町地区の小学校統合計画検討委員会を設置し25名の委員にて検討議論を行いました。 その結果、今後の児童数の推移やコロナ過による社会情勢を鑑みると共に、施設整備の財源確保の状況を踏まえ、海津町地域の小学校5校が、令和6年4月に統合を図ることで学校規模の適正化を進めることができる「海津町地域小学校統合基本計画」を策定しました。	◎
課題	海津町地域の小学校5校統合に向けた「小学校統合準備委員会」を設置すると共に、地域、学校、教育委員会、学校関係者との協議・調整を更に進めていきます。また、小学校統合の5校統合は、海津町全域となり広域的な調整を必要とする事項が多にあり、特に通学区域の拡大による安全で安心できる通学体制づくりが求められます。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



海津市小学校統合計画検討委員会



海津町地域小学校統合基本計画に関する意見書提出

## 基本目標 3

生涯学習環境の整備・充実  
(社会教育課)

施策の総合点検評価

担当課	社会教育課
-----	-------

基本目標	3 生涯学習環境の整備・充実	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	9 継続的な学習・交流の場の形成		
施策方針	生涯にわたって、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「何からでも」主体的に幅広い生涯学習の機会を享受できる学習環境の整備を図り、一人一人の「生きがいづくり」や「地域を支える人づくり」など心豊かな生活を送ることができるように学習環境の充実に努めます。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	生涯学習講座については、コロナ感染拡大防止を考え、各講座講師や代表者と相談の上、開講しなかった講座もありましたが、人数制限を設けたり、分散して行ったりして、受講希望者の状況に応じた計画が実施できています。今後もコロナ感染予防対策を講じながら、継続的に進めていきます。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
生涯学習講座 受講者数	1,311人	811	1,800人

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①生涯学習ニーズの把握

取組目標	市民の生涯学習ニーズを的確に把握して、講座の開設や既存講座の見直しなどを行い、目的に応じた学習内容の充実を図ります。	
★年度計画	講座定員の半分に満たない講座は閉講とし、時勢に沿った講座の開設の検討を行います。	内部評価
★実績成果	コロナウイルスによる緊急事態宣言期間は、すべての講座の開講を延期し、6月以降に徐々に開講しました。人数の多い高齢者学級と悠々楽習講座、密になりやすい活動をとまなう子ども講座は開講しませんでした。開講した講座については、講師や代表者と相談し、人数制限を設けたり、時間を分散したりして、コロナ感染防止対策を講じつつ、やりがいをもって活動することができました。	○
課題	コロナ感染防止対策を鑑み、広い場所の確保や活動方法を検討するとともに、ボランティア講師に登録されている方をつまく活用できるよう、内容を工夫していく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



## ②学習情報の収集・整備

取組目標	各種講座や教室など、市民が学習の機会に関する情報を得る手段としては、市の広報紙やインターネット、口コミなどが考えられます。また、最新の情報を提供するために学習情報を収集し、メディアなどを活用して、連携が図れるように努めます。	
年度計画	メール配信やケーブルTVを利用し開催周知を図ります。	内部評価
実績成果	新聞や市報に取り上げてもらい、講座の様子等を市民に広める機会を増やすことができました。	○
課題	各種講座の内容に合わせた、より効果的な告知対策を図る必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

## ③社会教育施設などの整備とネットワーク化

取組目標	公民館や図書館などの社会教育施設が、地域コミュニティ形成の拠点としての役割を果たし、だれもが気軽に立ち寄り、情報交換や交流ができる場所となるように改修などを計画的に進めます。また、学習機会の確保や公平性を考慮しながら、施設の統廃合やネットワーク化の検討を進めます。	
年度計画	施設の老朽化により平田福祉センターの一般利用の制限を行います。また、施設の統廃合を含めた施設個別計画の策定を検討します。	内部評価
★ 実績成果	社会教育施設の管理は、限られた予算の中で適切に管理することができました。特に、各種イベントを行う大ホールを保有し、利用者の多い海津公民館において、大ホール天井耐震化・大ホール照明設備更新・空調設備更新の改修を行い、施設の長寿命化を図りました。また、老朽化の著しい平田福祉センターは、令和2年度において一部の団体のみの利用とし、令和4年度に廃止する方向で進めることができました。	△
課題	おおむねの社会教育施設は、存続させる方向で計画しておりますが、文化会館は老朽化が著しく、廃止の方向で検討しておりますが、城山支所をどうするかなど問題があります。また、ネットワーク化については、補修や改修が必要な施設や設備が多数あり、多額の費用を要するため、実情に応じ、計画的に検討していく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



海津市生涯学習講座(令和2年度版)

施策の総合点検評価

担当課	社会教育課
-----	-------

基本目標	3 生涯学習環境の整備・充実	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	10 多様な学習機会の提供		
施策方針	生きがいをもち、文化的で心豊かな生活を送ることができるように、地域の中での学習活動を通して共生を目指します。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	新型コロナウイルス感染拡大のため、図書館への来館者は大幅に減少しましたが、市民などからニーズのあった図書を可能な限り購入し、引き続き図書の充実を図ることができました。今後は、コロナウイルス感染防止対策のため、電子図書や利用者自身が借りたい図書をバーコードスキャナーで読み込む自動貸出システムを導入し、更なるサービスの向上を図っていきます。また、生涯学習講座においても、受講者におおむね好評であるため、今後も受講者の希望に沿うような講座運営をしていきます。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
市立図書館貸出数	265,257冊	159,313冊	275,000冊

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①生涯学習活動と指導者の育成			
取組目標	市民一人一人が生涯学習を通じて、多様な学習活動ができるように、講座の充実や芸術・文化に触れる機会の提供、指導者の発掘・育成に努めます。		
年度計画	一般成人講座や子ども教室の企画時に体験を重視した講座の開設に努めます。また講座開催時に社会教育課主催の催しの周知を図ります。	内部評価	
実績成果	各種講座の中には、毎年受講を希望され、長年継続して開催されている講座もあり、講師の方にとっても充実感につながっています。	○	
課題	地域で活動されている方が講師となり、知識・技能を受講者へ還元できるように、ボランティア講師登録を広め、登録された講師を活用していく必要があります。		



②生涯学習の意識啓発

取組目標	生涯学習に対する市民意識の向上を図り、啓発に努めるとともに、ニーズに応じた幅広い生涯学習の場を増やします。	
★年度計画	「生涯学習講座のご案内」冊子を年度当初に全戸配布し講座や生涯学習の啓発を図ります。また、新聞・ケーブルTVへ各講座の開催時に情報提供を行い記事にさせていただくことで生涯学習への意識向上を図ります。	内部評価
★実績成果	各社会教育施設において、生涯学習講座を開設し、講師の方と方法や内容を相談しながら、受講者の希望に沿うように運営することができました。	○
課題	コロナウイルス感染予防対策を講じつつ、開催日時や場所についてもよく検討し、できるだけ多くの人に参加できるように設定および運営していく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

③図書館や歴史民俗資料館などの学習機関の機能充実

取組目標	多様で高度化する学習ニーズに応えるため、図書館などの学習機関を一層充実させ、利用者へのサービス向上と専門性の高い学習機会の提供に努めます。	
年度計画	施設の見直しを含めた効率的な運営と利用者サービスの充実に努めます。	内部評価
実績成果	コロナウイルス感染拡大防止の対策のため、海津図書館は開館時間を短縮したことと、利用者自体の感染の危惧の面から、来館者は大幅に減少しました。また、ボランティア団体による読み聞かせ会も中止となりました。	△
課題	電子図書を導入することで、図書館へ行って借りる必要もなく、また、直接本に触れることもないため、コロナウイルス感染防止に大変有効なものであり、今後整備していくことを検討していきます。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



海津図書館(中央館)



海津図書館(中央館)



施策の総合点検評価

担当課	社会教育課
-----	-------

基本目標	3 生涯学習環境の整備・充実	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	11 新たな学習活動への支援		
施策方針	地域性や地域文化を大切にしながら、生きがいづくり・地域づくりにつながるまちづくりを目指し、市民力を活かした多様な学習活動の支援に努めます。また、地域の人々が互いに助け合える魅力溢れる生涯学習の推進を図ります。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	子ども講座等への参加希望者は多く、参加した子どもたちは、生き生きと活動しており、講師の方や講座に関わっていただける地域の方にとっても充実感につながっています。今後もコロナ感染予防対策を講じながら継続していきます。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
—	—	—	—

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①学習活動を支援する人材の活用

取組目標	地域の活動やボランティア活動を通じて、退職者や学習習得者がこれまで培ってきた技術やノウハウを市民に還元できるように環境づくりと人材の確保に努めます。	
年度計画	ボランティア講師登録を促し、地域や学校・園が活用しやすい活躍の場づくりをの支援を行います。	内部評価
実績成果	ボランティア講師制度の募集チラシを発行し、各公共施設に設置することで人材確保に努めました。コロナ禍の影響もあり、新規登録はありませんでしたが、ボランティア講師登録者以外にも講座の内容に応じて直接依頼し、その都度引き受けていただくことができています。	○
課題	市報や市ホームページ等でも募集要項を掲載し、更なる人材確保と活用をできるよう、広く周知していく必要があります。	

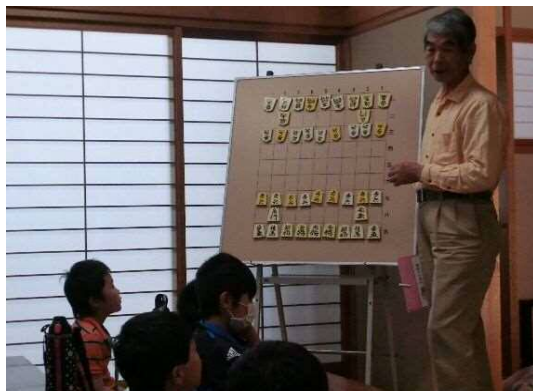


## ②高齢者のもつ技能の伝承

取組目標	地域の言い伝えや風習などの伝承を通して、子どもと高齢者が触れ合う機会を提供し、多世代にわたる市民交流を推進します。	
年度計画	古くからある日本の伝統文化を学べる講座の開催を行います。	内部評価
実績成果	竹炭工作やお菓子作り等、コロナ禍の影響で開講できなかった講座もありましたが、将棋教室等、子どもたちが地域の方に教えてもらいながら、生き生きと活動できる講座を開設することができました。	○
課題	募集チラシを各施設に設置するなど多くの人の目に触れるようにし、講師登録数をさらに増やしていく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

## ③学習機会の充実

取組目標	市民の学習ニーズに対応した学習機会を広く提供するとともに、市民協働や関係する係との連携・協力による学びの場を充実させます。	
年度計画	年度の当初に「生涯学習講座の案内」を各世帯に配布します。他課で実施される講座や教室を掲載し、幅広く周知し市民の学びの場づくりを推進します。	内部評価
★ 実績成果	冊子「生涯学習講座のご案内」に出前講座一覧を掲載し、市報4月号に折り込みました。コロナ禍の影響で活動が制限され、活用する機会がほとんどありませんでしたが、今後の参考ということで講座受講者等に紹介することができました。	△
課題	市の出前講座について、市ホームページなどにも掲載したり、実績を紹介したりし、さらなる周知を図り、誰でも気軽に学習できる機会を提供する必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



子ども将棋教室

## 基本目標 4

### 青少年の健全育成

- 地域交流の推進  
(社会教育課)

施策の総合点検評価

担当課	社会教育課
-----	-------

基本目標	4 青少年の健全育成・地域交流の推進	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	12 地域で進める青少年の健全育成		
施策方針	世代・地域・心のつながりを強化し、地域ぐるみで良好な環境づくりを進め、青少年の健全育成を図ります。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	学校の協力を得ながら、子どもたちの自主的な活動として、充実した活動ができています。今後、子ども会活動の望ましい在り方について状況を踏まえた対策を検討していきます。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
成人の集い 参加率	78.7%	未実施	85.0%

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①「こども健全育成指針」の推進

取組目標	海津市青少年問題協議会において策定している「海津市こども健全育成指針」を市民に周知し、市民参加で推進します。	
年度計画	海津市青少年育成市民大会の参加者増加を図り、発表していくことで、より多くの市民に周知できるようにします。	内部評価
実績成果	各学校の児童会や生徒会を中心に「あったかい絆宣言」にかかわる取り組みを継続し、健全に生活していくことができるように、子どもたちが主体となって活動することができました。	○
課題	青少年育成団体と連携を図り、地域の方々と共に子どもを育てる体制づくりの見直しが必要です。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

②子どもの生活習慣の確立に向けた支援

取組目標	子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズム向上につながる活動を支援します。その中でも情報モラル教育の一環として、『あったかい絆宣言』を周知し、学校やスクールサミットなどを通して情報機器を適切に利用できるように取組めます。	
年度計画	スクールサミットで各学校への啓発を図り、児童会や生徒会を中心に実態に応じた取り組みを実践できるように推進していきます。	内部評価
★ 実績成果	コロナ禍の影響で、スクールサミットは開催できませんでしたが、前年度からの取り組みを継続し、各学校で実践することができました。中学校1校で情報モラルワークショップを行い、情報機器の良さと問題点を考えることを通して、使い方について約束を決めることができました。	○

課題	今後ますます情報機器が普及することが考えられ、幼児や低学年の取組方法を考えるとともに、保護者に対する啓発を図っていく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず
----	--	--

③組織的な活動の充実

取組目標	地域のスクールボランティアやこども110番などによる見守り活動や広報啓発などを行い、環境浄化活動の充実を図ります。また、家庭・学校・地域社会・警察・各種団体との連携を図り、協力体制を強化していきます。さらに安全・安心な地域ネットワークを築き、地域の見守り力を高めていきます。	
年度計画	青少年育成推進委員会の活動と連携し、地域の安全について常に見守っていくように進めていきます。	内部評価
実績成果	地域の方が毎日登下校の見守りを行っていただいたり、登下校時には警察による巡回も行ってくださっています。青少年育成推進員を中心に通学路点検等も行い、危険箇所を改善する動きをつくることができました。地域全体で見守り活動ができています。	○
課題	こども110番の家の周知を進め、一般の方にも見守っていただける体制を一層徹底し、子どもがさらに安心して生活できる地域社会の強化を図る必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

④青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上

取組目標	青少年の主体性や社会性を育むために、新成人が自ら企画する「成人の集い」を開催していきます。また、異年齢交流の場となっている子ども会活動においても、自主的に活動ができるように家庭・学校・地域の連携を図ります。	
年度計画	成人の集い実行委員会を中心に、会を企画運営できるように進めます。実態に応じて市子ども会育成連絡協議会の運営を工夫改善し、子ども会活動のよさを広めていきます。	内部評価
実績成果	コロナ禍の影響で、成人の集いの開催を令和3年11月に延期しました。成人の集い実行委員を中心に、新成人のニーズに合わせた企画運営をしています。子ども会活動においても、市全体で集まることはできませんでしたが、各地区ごとに在宅活動を企画し、楽しみながら様々な体験をすることができました。	△
課題	少子化による子ども会活動が難しくなっている中、役員や保護者の負担の軽減と行事の精選を図っていく必要があります。市子ども会育成連絡協議会加盟単位子ども会が減少する中、子ども会活動の意義を伝え、地域の子どもの健全育成の在り方を検討する必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



施策の総合点検評価

担当課	社会教育課
-----	-------

基本目標	4 青少年の健全育成・地域交流の推進	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	13 家庭と地域の教育力向上の推進		
施策方針	「あたりまえのことができる家庭教育支援」をテーマに基本的な生活習慣を整え、思いやりの心を大切にする家庭づくりを目指します。また、子どもが健やかに育ち、生きる力を身につけ育む場の基盤づくりのために、家庭と地域の教育力を高める支援を充実します。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	在宅での取り組みを提案し、ほぼ全家庭で活動することができ、親子の絆を深めることができました。子どもが健やかに育つことができるよう、支援を継続していきます。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

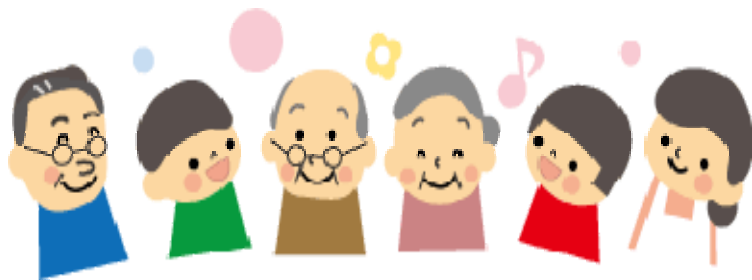
2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
単位子ども会 会員数	4,346人	1,104人	1,500人
地域のおじさん・おばさん運動 登録者数	306人	306人	350人

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進

取組目標	基本的な生活習慣を整え、思いやりの心を大切にする家庭を営む支援をします。また、市民活動団体の協力を得て、公民館事業、地域活動など親子が一緒に参加できる場を提供し、家族が触れ合い、円滑な親子関係の構築と思いやりのある家庭づくりに取り組みます。	
年度計画	親子や家庭内でのコミュニケーションを促進できるよう、親と子が協力しながら取り組める講座を開催します。	内部評価
実績成果	子育て応援隊講座を開催し、子どもだけでなく親も興味をもって参加していただき、講座で学んだことを家庭でも実践することができました。また、家庭教育学級では、コロナ禍のため、集まって活動をする事は出来ませんでした。在宅で取り組む事ができ、ポジティブな活動ができました。	○
課題	家族の触れ合いができる内容をさらに考え、家庭教育力の向上を図っていく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



②子育て学習の提供と家庭教育相談体制の充実

取組目標	多くの親が集まる機会を活かし、子育てや教育に対する家庭の役割、親としての力を高める講座の開催などを行います。また、様々な状況にある保護者のために学習機会を提供し、専門諸機関と連携した相談体制を充実させ、子育て不安の軽減を図ります。	
★年度計画	小学校入学前の保護者を対象とした「子育て親育ち講座」や反抗期の子を持つ親を対象とした講座等、子どもの環境変化に応じたテーマの講座の計画を行います。相談業務では子育てにかかわる機関と連携しながら内容に応じた助言を行います。	内部評価
実績成果	「子育て親育ち講座」を就学時検診時に開催することで、ほぼ100%に近い出席が得られ、親としての心がけ等を改めて学ぶ機会にできました。にこにこ子育て相談室への相談件数も増えており、支援員の努力により、子育てへの不安や悩みを軽減する一助になっています。	○
課題	兄弟姉妹を持つ親は子育て親育ち講座に数回参加されることから、講師や内容の充実を図り、毎年工夫していく必要があります。(体験型、ワークショップ等)	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

③地域と連携した活動の充実

取組目標	子どもが安心して暮らせる環境づくり、地域の活性化と教育力向上のために、学校・家庭と地域との連携をより一層深め、子どもたちの活動や学習支援などに地域住民が関わりをもてるように取組みます。	
年度計画	各地区の社会福祉協議会が行う三世代交流事業への支援を行います。また、地域学校協働への取組みの検討を行います。	内部評価
実績成果	社会福祉協議会を中心に三世代交流等を企画運営し、補助金を交付する予定でしたが、コロナ禍のため活動ができませんでした。	△
課題	コロナ感染予防対策を講じ、多世代交流を実施し、子どもたちの活動や成長を地域で支える体制づくりをしていく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

海津市にこにこ子育て支援事業

海津市にこにこ子育て支援事業のテーマ  
あたりまえのことが出来る家庭教育支援  
～基本的な生活習慣を整え、思いやりの心を大切に作る家庭に～

あ た り ま え

① にこにこ子育て相談チーム  
② にこにこ子育て応援隊  
③ にこにこ子育て地区チーム  
④ 家庭教育学級(工夫・改善)  
⑤ 子育て・親育ち講座  
⑥ 家庭教育講演会(オープン講座)  
にこにこ子育て情報提供

にこにこ子育て応援講座

子育て中の親が安心して子育てができるように、市民活動団体の力を借りてそれぞれの得意分野を生かして開催される講座です。子育ては「身」が大事、お子さんの「身」は二重の意味です。このチャンスを活かして大切に、準備や学校生活、子育てに役立ちます。

ほっとスペース・そよ風  
絵本であそぼ  
なのな講座  
わ・わ・わ広場  
親子で夢を飛ばそう会  
学習支援の会

みなさんの参加をお待ちしております。

海津市生涯学習のご案内 子育て支援事業(令和2年度版)

施策の総合点検評価

担当課	社会教育課
-----	-------

基本目標	4 青少年の健全育成・地域交流の推進	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	14 地域間交流・多文化共生の推進		
施策方針	市民が幅広い視野をもてるように、歴史的つながりのある姉妹都市及び友好都市と交流を深め、国際感覚豊かな人材育成のために異文化理解の教育に取組みます。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	B	コロナ禍の影響で、交流事業については中止としました。今後は、リモートによる交流も視野に入れ、他地域の文化等を学ぶことができるようにしていきます。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時(H27)	実績値(R2)	目標値(R3)
霧島市生徒交流事業参加率(応募者数/定員)	100%	中止	100%
酒田市児童交流事業参加率(応募者数/定員)	92.0%	中止	100%

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①交流教育の充実

取組目標	国内における姉妹都市・友好都市との地域間交流について、市民の関心と参加を高める情報発信に努め、交流活動を通じて、相互の文化や歴史・習慣などを学び、両市の友好親善を推進します。さらに交流事業に参加しやすいような環境を整備し、幅広い視野をもつ人材育成に努めます。	
★年度計画	前回の反省を生かしつつ、宿泊方法の検討や、地域性が理解できるような見学・活動場所を選定し、負担が少なく、互いに楽しみながら学び合う交流ができるよう検討していきます。	内部評価
実績成果	地域間交流実施のための準備を進めてきましたが、コロナ禍のため、中止としました。	△
課題	ホームステイの受け入れが難しくなっており、宿泊施設での合同合宿を検討したり、リモートによる交流を推進したりする必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

②多文化共生の推進

取組目標	多文化共生の地域づくりを推し進める必要性が増しているなか、様々な国の異なる文化や価値観の理解を深め、豊かな国際性を習得する教育に取組みます。	
年度計画	外国人が講師となり、その国の文化や習慣を学ぶ機会を提供します。	内部評価
実績成果	英会話や異国食料づくりを計画していましたが、コロナ禍のため、中止としました。	△
課題	コロナ感染防止対策を講じ、安全に体験活動を行えるような企画をしていく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



# 基本目標5

文化の振興  
(社会教育課)

施策の総合点検評価

担当課	社会教育課
-----	-------

基本目標	5 文化の振興	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	15 文化の継承と発展		
施策方針	先人が残した貴重な文化遺産を後世に引き継ぐために、保存及び保護、調査研究を推進し、文化財の歴史的価値を高めるとともに、郷土の文化資源として活用することにより、地域の活性化を図ります。	評価 段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	「早川家住宅」や「津屋川水系清水池ハリヨ生息地」の保存活用について、重点的に進めていきます。また、郷土の歴史文化を守り、後世に正しく継承していくために、文化財や史跡、伝統芸能を適切に保存、管理継承、活用、公開を図っていきます。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
文化財保存管理件数	8件(100%)	9件(100%)	9件(100%)

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①指定文化財の保存・保護活用、後継者の育成

取組目標	所有者や管理者と協力して、その種別に応じた適切な保護管理体制を確立し、文化財の整備及び活用計画の作成を進めます。また、後継者育成への支援をするなど、文化財の周知に努め、保存・保護を図ります。	
★年度計画	重要文化財(建造物)に指定された早川家住宅など指定文化財の保存管理及び活用方法を検討し、活用計画の作成を進めていきます。	内部評価
★実績成果	国の重要文化財に指定されている早川家住宅の正面入口において、景観に配慮した石製看板の設置や、文化財指定地における草刈りや剪定等の維持管理を実施しました。 早川家住宅保存活用検討委員会を10月と3月に開催し、今後の保存及び活用についての方向性を検討することができました。	○
課題	早川家住宅保存活用検討委員会を保存部会と活用部会に分けて協議し、その内容等を全体会で取りまとめ、文化財の保存や公開等の活用に向けた具体的な方向性を定めていく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究

取組目標	歴史資料などの収集、遺跡の調査・研究を行うとともに、新たな文化財の掘り起こしに努めます。また郷土資料を市民への学習教材などに活用していくための基礎的情報を蓄積していきます。	
★年度計画	天然記念物に指定されている清水池の改修工事に伴う調査を進めていきます。また、ハリヨの個体数調査や埋蔵文化財の試掘・確認調査を引き続き実施し、基礎的情報を収集に努めます。	内部評価
★実績成果	ハリヨの個体数調査を継続して実施し、ハリヨの生息環境状況について把握することができました。(捕獲個体数の結果から、ハリヨの個体数は2014年~16年は減少傾向にあり、2017年と2019年にかけても安定した個体数の増減を繰り返しています) また、津屋川水系清水池ハリヨ生息地改修工事設計の委託業務を実施しました。	○

課題	毎年行っている生態調査を基に、ハリヨの生息環境の改善に向けた事業を展開していく必要があります。また、これまで得られたハリヨの生態を市民に公開するシンポジウムを開催し、保護の重要性を周知する必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず
----	--	--

### ③文化資源の活用

取組目標	地域資源である文化財の価値を高めることは、地域住民がふるさとに誇りをもつことにつながるため、積極的に情報公開や活用を進めます。また、文化財を活用することで、観光や文化振興など地域の活性化を図ります。	
年度計画	市民の身近な歴史文化を紹介する企画展や講座を開催し、文化財資源の活用と地域の活性化を図ります。	内部評価
実績成果	市内小学校の児童向けの古代体験出前授業を実施したり、平田地区の小学校の歴史や県立海津明誠高等学校100周年に関わる企画展を開催し、身近な歴史に触れる機会を提供できました。	○
課題	出前講座や企画展を通して歴史資源を積極的に活用するため、市民や学校などに定期的に情報提供していく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

### ④文化財指定基準の運用

取組目標	海津市文化財保護条例に基づき、保存及び活用のための必要な措置を講じます。また、文化財指定基準に基づき、歴史的・文化的価値のある文化財を掘り起こすなど基準の運用を図ります。	
年度計画	文化財保護事業補助金による支援を継続していきます。また、文化財指定基準に基づき、歴史的・文化的価値のある文化財を保護審議会に諮問していきます。	内部評価
実績成果	文化財保護事業補助金を交付し、文化財の所有者や管理団体等の支援を実施しました。（1件：604千円）	○
課題	文化財の所有者や管理団体からの意見を定期的に伺い、補助金だけでなく、文化財の保護や活用に必要な支援策を検討していく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



ハリヨ(市天然記念物)



津屋城跡山門の壁面修繕

施策の総合点検評価

担当課	社会教育課
-----	-------

基本目標	5 文化の振興	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	16 豊かな自然と文化財を愛する心の育成		
施策方針	郷土の歴史や文化財に、誇りと親しみをもつことのできる普及・啓発活動を推進するとともに、市民が地域の文化遺産を知り、守り、伝えることによって、文化財愛護に対する意識高揚を図ります。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	早川家住宅保存活用検討委員会にて、今後の保存活用について協議して文化的・観光的な地域活性化を目指していきます。また、歴史民俗資料館において、魅力ある展示や企画を目指し、郷土文化を広く市民に普及していきます。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
歴史民俗資料館 1日あたりの平均入館者数	—	15人	30人

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①文化財の情報発信と周知

取組目標	文化財マップなど郷土の文化を紹介・案内する資料を充実し、史跡巡りや学習会などを行って、郷土文化を知る機会の拡大を図ります。また、文化財などを案内するボランティアガイド「ふる里おもてなし隊」との連携強化を図り、観光にもつなげます。	
年度計画	新たに指定された文化財の追加など文化財マップの見直しを検討していきます。また、ボランティアガイド「ふる里おもてなし隊」に文化財情報を提供し、連携を図っていきます。	内部評価
実績成果	国の重要文化材に指定された早川家住宅のパンフレットを増刷しました。	○
課題	新たに指定された文化財などの情報が文化財マップに反映されておらず、文化財マップの内容修正やリニューアルをしていく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



早川家住宅(主屋・庭園)



早川家住宅主屋(次の間・広間)

②自然・歴史資源の発見と活用

取組目標	郷土の文化に触れ、自然景観を見て歩き、歴史を学ぶことのできる機会を提供します。また、多様な分野における有識者の活用やメディアへの情報発信によるPRなどに努めます。	
年度計画	歴史講座や体験プログラムなどの学習機会を提供し、歴史を学ぶ環境づくりを進めます。また、ホームページやメディアへの情報発信を活用し、文化資源のPRに努めていきます。	内部評価
実績成果	歴史民俗資料館において、歴史ミニ講座のほかに戦後75年展や海津明誠高校100年のあゆみ展、ふるさとの学び舎～平田地区小学校編～展を開催し、新たな文化財資源の掘り起こしと普及につなげました。	○
課題	市内の文化財資源の掘り起こしのために継続して調査研究を進め、それをよりよく活用するための情報収集や市民との連携及び情報共有を図る必要があります。	
		◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

③歴史民俗資料館運営の充実

取組目標	入館者が減少傾向にあることを踏まえ、より一層の調査・研究を進めながら企画展などの事業を展開していきます。また、館内リニューアルを検討しながら入館者の増加を目指します。	
年度計画	利用者の共感を得られる事業を企画して入館者数の増加に努めていきます。また、適切な施設管理を進めながらリニューアルの検討を進めていきます。	内部評価
★ 実績成果	市民のニーズを意識した講座（歴史ミニ講座）の開催や、企画展を実施しました。また入館者数は、新型コロナウイルスによる臨時休館や外出自粛、緊急事態宣言等により3,830人で、前年度と比較して6,468人の減少となりました。	○
課題	withコロナ・afterコロナを意識した施設管理を進めるとともに、入館者の増加を図るため、事業内容の工夫と効率的な広報の実施が必要です。また、施設の老朽化対策やリニューアルに向けた適切な財政措置ならびに、利用者のニーズや費用対効果を見据えた具体的なリニューアル計画を立案・推進する必要があります。	
		◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



海津市歴史民俗資料館

施策の総合点検評価

担当課

社会教育課

基本目標	5 文化の振興	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	17 生きがいと共生、文化芸術活動の推進		
施策方針	地域の人々が、郷土の文化を愛し、生きがいを感じられるような文化活動や創作活動を支援します。また、質の高い芸術に触れる機会を提供することで豊かな心を育むとともに、市民参加型による芸術創作活動に取り組める環境づくりをします。	評価 段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分		評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S	予定以上に進んでいる	A	市民参加型による芸術創作活動として、市民創作ミュージカルの本公演を盛り上げていくとともに、市民が質の高い芸術に触れる機会の創出を進めていきます。
A	予定どおり進んでいる		
B	少し遅れている		
C	大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
市内の文化団体登録者数	1,557人	1,317人	1,300人

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①市民文化活動への支援

取組目標	文化団体が行う活動は、これに参加する人たちが生きがいを見出し、自己表現のできる機会をつくるとともに、文化レベルの向上につなげていくことができます。このため、成果発表をする活躍の場を提供し、活動しやすい環境づくりに努めます。		
年度計画	文化展の運営方法を検討し、新型コロナウイルス感染予防対策を踏まえながら、市民が文化活動に参加しやすい環境づくりに努めていきます。また、16周年を迎える文化協会がさらに活発に活動ができるように、補助金等の支援を実施していきます。	内部評価	
実績成果	文化協会の活動に対し、適切に補助金交付を行い、アドバイス等の支援を行いました。また、市のホームページにてWEB展を開催し、35人の応募者から45点が展覧されました。展覧作品は、市公式のInstagramやフェイスブックでも紹介しました。 (掲載期間：令和2年11月9日～12月25日)	○	
課題	文化協会をはじめ文化団体・サークルへの加入者が減少しており、文化事業に関わりやすい環境づくりの支援が必要です。また、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえて、令和2年度と同様、WEB展にする等、開催方法を検討します。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず	

②文化や芸術に親しむ機会の提供

取組目標	情緒豊かな心を育み感性を高めるため、幼少期から優れた文化芸術に触れ合う機会を提供します。		
年度計画	文化庁が展開する「文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)」の情報を市内小中学校に周知し、幼少期から優れた芸術文化に触れ合う機会を提供していきます。	内部評価	
実績成果	過去にはオーケストラのコンサートやプロ劇団のミュージカルなどの質の高い芸術に市民が触れることができる機会を設けてきたが、予算確保することができず、平成29年度をもって事業を中止しており、以後事業を実施することができません。「文化芸術による子供育成総合事業」については、小中学校に情報を提供することができました。	△	

課題	行政による芸術文化事業の開催を進めるとともに、市民や市内団体など民間による文化芸術に触れ合う機会の創出の在り方についても考えます。また、小中学校の希望を集約した体験型ワークショップの提供や出前講座の開催を検討していきます。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず
----	---	--

### ③市民参加型による芸術創作活動の奨励

取組目標	多くの市民がともに創ることの喜びや生きがいを感じられるように、主体的に企画・創作する文化芸術活動を奨励し、推進に努めます。	
★ 年度計画	市民創作ミュージカルの本公演事業を実施し、市民が主体的に創り上げる文化芸術活動の推進を図ります。ホームページやメディアなどの媒体を活用し、芸術創作活動のPRに努めていきます。	内部評価
実績成果	市民創作ミュージカルのオーディション・本公演・アウトリーチ等を計画し準備を進めていましたが、コロナウイルス感染拡大に伴い、安全・安心な環境の中で半年以上の稽古をすることが難しくなったため、やむを得ず1年延期することとなりました。	△
課題	令和4年3月に市民創作ミュージカルの本公演を開催するため、新型コロナウイルスに感染しないよう安全・安心な環境を整えて、より多くの市民に参加してもらえるような情報発信に努めていく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

### ④多様な文化芸術活動の支援

取組目標	文化芸術活動の活性化と人材育成を図るため、音楽や演劇をはじめとする様々な文化芸術活動を積極的に支援します。	
★ 年度計画	かいづっち合唱団の活動を通して、子どもたちの人材育成に努めていきます。かいづっち合唱団の活動を幅広く展開し、市民への周知に努めていきます。	内部評価
実績成果	設立から4年目を迎えたかいづっち合唱団の歌声やダンスを、出演依頼のあった「社会を明るくする運動」等で披露する予定でありましたが、コロナウイルス感染拡大に伴い実施することができませんでした。しかし、観客を合唱団員の家族のみとした「ファミリーコンサート」を開催することができました。 かいづっち合唱団団員数（H30：30名、R1：36名、R2：38名）	○
課題	音楽や演劇をはじめとする様々な文化芸術活動に参加できるように合唱団運営を行っていますが、将来的には市民や民間の中で活動を持続できるような体制づくりを検討する必要があります。また、合唱や演劇において、ステージ上や客席では過去のような舞台発表形式が難しい状況下であるため、隊形や立ち位置を十分に考慮した上で活動発表する必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



市民創作ミュージカル



かいづっち合唱団

# 基本目標6

## スポーツ活動の振興

(スポーツ課)



施策の総合点検評価

担当課

スポーツ課

基本目標	6 スポーツ活動の振興	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	18 スポーツ活動の充実		
施策方針	市民が健康で活力のある生活が送れるように、各々のライフスタイルやライフステージに応じた、参加できるスポーツ活動の機会を提供します。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分	評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S 予定以上に進んでいる	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、計画した事業がほとんど実施できませんでした。感染症対策を行いながらできることを考え、併せて、市報やチラシでのPRや、関係団体との連絡協議等も行い、今までは違う形でのスポーツ活動の機会の提供を進めていきます。
A 予定どおり進んでいる		
B 少し遅れている		
C 大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
体育大会 参加者数	1,143人	0人	1,500人

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①子どものスポーツ活動の推進

取組目標	子どもの健全育成のため、スポーツ少年団や学校部活動などスポーツの活動の場となる団体等の活動を支援します。	内部評価  △
年度計画	子どもの健全育成のため、体育協会・スポーツ少年団の連携を図り、スポーツ活動の場となる団体等の活動の支援をします。	
実績成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施されていた西濃地区交流大会・リーダー研修会が中止となりました。指導者研修会については、講演動画視聴による研修に指導者を派遣(24人)し、指導者の育成支援を行いました。	
課題	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら活動を行う必要があります。また、少子化や生活環境の変化などの影響により団員数の減少が見られ、新規の団員の確保が困難な状況にあります。	

②高齢者や障がい者スポーツ活動の推進

取組目標	室内でも気軽にできるスポーツ教室を開催し、高齢者や障がい者が楽しくスポーツに親しむ機会を提供するよう努めます。	内部評価  △
年度計画	誰もが気軽にできる軽スポーツ教室の開催に努めます。また、応援参加により障がい者スポーツへの意識高揚を図ります。	
実績成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種団体・サークルに対する出前講座を実施することができませんでしたが、スポーツ推進員(20人)を中心に、軽スポーツ教室を開催し、軽スポーツによる健康維持を呼びかけました。	

課題	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら活動を行う必要があります。また、開催する軽スポーツや運動会などの行事は、幅広い世代の市民を対象としておりますが、参加しやすい種目など工夫する必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず
----	--	--

### ③市民参加型スポーツ活動の推進

取組目標	体育協会、スポーツ推進委員と連携して、各種スポーツ大会を開催するなど、地域を核としたスポーツ大会の内容の充実を図り、だれもが気軽に楽しめる市民参加型のスポーツ行事を開催します。	
★ 年度計画	各種団体等と連携し、各種スポーツ大会の開催とあわせて市民参加型のスポーツ行事を行います。	内部評価
実績成果	各種スポーツイベント（軽スポーツ大会、地区運動会、タスポニー大会など）の実施に向けて準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により軒並み中止となりました。	△
課題	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら活動を行う必要があります。また、下多度、城山、石津地区の軽スポーツ大会が参加者の減少などで縮小傾向となっているため、内容のマンネリ化を改善する必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

### ④スポーツ観戦機会の創出

取組目標	「みる」スポーツを通して、さらに市民のスポーツに対する意識高揚を図るため、ボート、カヌー及びトライアスロン競技など本市の特徴的なスポーツ環境を生かし、スポーツ観戦機会を創出し、競技への関心を高めます。	
年度計画	FC岐阜ホームタウンデーの事前周知を行い、スタジアムでの観戦機会を創出します。	内部評価
実績成果	FC岐阜ホームタウンデー（11月21日 藤枝MYFC戦）の事前周知を行い、スタジアムでの観戦機会を創出しました。	○
課題	さらなる周知を行い、より多くの市民への観戦機会を創出する必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



FC岐阜ホームタウンデー



サッカー教室

施策の総合点検評価

担当課

スポーツ課

基本目標	6 スポーツ活動の振興	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	19 スポーツ施設・備品の充実		
施策方針	市民が気軽に安全かつ快適にスポーツ活動ができるように、施設の充実に図ります。また、スポーツ備品の充実に図り、貸出しにより市民や団体のスポーツ活動への参加を支援します。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分	評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S 予定以上に進んでいる	A	市内のスポーツ施設については、老朽化の修繕や環境改善を予算範囲の中で適宜行っていますが、施設の充実に図るため、整理統合も含めた施設配置の適正化を検討していきます。 廃止した5地区体育館について、体育館施設の取り壊しに向けて地元自治会等と協議を継続していきます。
A 予定どおり進んでいる		
B 少し遅れている		
C 大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
スポーツ推進委員の活動回数	37回/年	11回/年	40回/年

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①体育施設の充実

取組目標	社会体育施設の計画的な統廃合を進め、利用者が安全で快適にスポーツを楽しめるように環境づくりを進めるとともに施設の長寿命化とグラウンド・ゴルフ場の拡充を目指します。また、市民が身近な場所でスポーツを楽しめるよう、教育施設のスポーツ開放を継続的に進めます。	
★年度計画	社会体育施設の計画的な統廃合計画を進め、利用者が安全で快適にスポーツを楽しめるように環境づくりに努めます。また、市民が身近な場所でスポーツを楽しめるよう、教育施設のスポーツ開放を継続的に進めます。	内部評価
実績成果	海津グラウンドの修繕や、各体育施設の照明、スポーツ用器具など、延べ約20か所の修繕を行い、長寿命化を図るとともにスポーツ施設の環境改善を図ることができました。また、利用者減少のため、養南グラウンドを廃止しました。	○
課題	平田体育館の耐震補強など長寿命化を図るとともに、施設の統廃合計画の策定が必要です。また、廃止した5地区体育館について、令和6年度までの取壊しに向けて地元自治会等と協議を進める必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

②スポーツ備品の充実

取組目標	市民や団体のスポーツ活動を支援するため、スポーツ備品の充実に図り、出前講座などを通じてスポーツ備品である貸出品を利用した軽スポーツ教室を開催していきます。	
★年度計画	市民や団体のスポーツ活動を支援するため、スポーツ備品の充実に図ります。また、貸出品を利用した軽スポーツ教室を開催します。	内部評価
実績成果	テニスネットを購入し、スポーツ備品の充実に図りました。また、スポーツ推進委員との連携により軽スポーツ教室を開催し、延べ515人の参加を得ました。	○
課題	スポーツ備品の貸出について、さらなる周知が必要です。また、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら活動を行う必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

施策の総合点検評価

担当課	スポーツ課
-----	-------

基本目標	6 スポーツ活動の振興	外部 検証 評価	継続・妥当
施策	20 スポーツ指導者・団体の育成		
施策方針	体育協会などの既存のスポーツ団体及び総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。また、スポーツ指導者研修の充実を図ります。	評価段階	拡充・推進 継続・妥当 見直し・改善 縮小・休止 廃止検討

1. 施策の進捗状況の評価と理由および方向性

進捗評価区分	評価	進捗評価理由および今後の方向性など
S 予定以上に進んでいる	A	中学部活動・クラブの休日地域移行化について、関係機関との意見交換を行いました。休日の活動について、円滑に移行できるよう検討を重ねていきます。
A 予定どおり進んでいる		
B 少し遅れている		
C 大幅に遅れている		

2. 参考とする指標(第2次 海津市総合計画より)

成果指標	策定時 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
—	—	—	—

3. 基本施策に関する評価シート(★は令和2年度の重点的な取り組み)

①スポーツ団体の育成

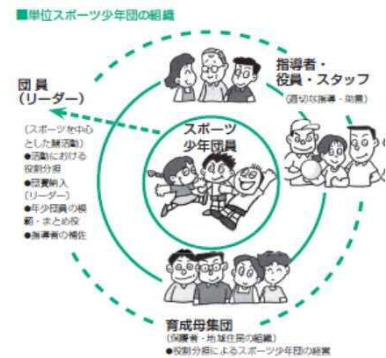
取組目標	体育協会などのスポーツ団体及び総合型地域スポーツクラブの活動を継続して支援しつつ、競技団体などの統廃合・法人化を検討し、持続可能な組織への転換を支援します。	内部評価  ○
★年度計画	スポーツ団体間の連携を促し、それぞれの活動の活性化や、運営の効率化などを進めます。また、総合型地域スポーツクラブ・体育協会・スポーツ少年団の統合に向けた検討を行います。	
実績成果	体育協会に補助を行い、事務指導などの面において支援を行い、クラブ運営の推進を行いました。また、2つの地域スポーツクラブに対し、県事業により事務指導などの面において支援を行い、クラブ運営の充実を図ることができました。	
課題	各団体の活動のみで、横のつながりが弱い状況であるため、代表者会議等を継続的に開催する必要があります。	



南濃スポーツクラブ



単位スポーツ少年団の組織(日本スポーツ協会資)



## ②指導者の育成と確保及び活用

取組目標	スポーツ指導者に対する研修を充実し資質の向上を図り、市民ニーズに合った指導が行われるように指導者間の情報交換や情報共有を進めます。また、教職員の働き方改革の推進に伴い部活動のクラブ化を関係機関と連携し検討します。	
年度計画	競技スポーツ力向上のため指導者の育成を図るとともに、発達段階に応じた適切な指導や計画に基づいた、ジュニア世代から一貫した選手育成ができる体制づくりを推進します。	内部評価
実績成果	スポーツ少年団指導者研修会に指導者を派遣し、指導員の育成を行いました。また、部活動のクラブ化について、先進地団体による講演会の実施や種目別の代表者による意見交換会を行いました。	○
課題	スポーツ指導者の確保については、指導者資格が競技により多種多様であり、競技指導者の適正な人材を図るためにも指導者資格の全体像を整理し必要な情報を提示する必要があります。市内には、指導者バンクのような制度がないため、特に、中学生の部活動・クラブの社会人コーチは、適正な人材確保が課題となります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず

## ③競技スポーツ活動の支援

取組目標	本市出身の世界で活躍が期待される五輪選手や五輪候補選手を支援します。特に東京2020オリンピック・パラリンピックを重点的に応援します。	
年度計画	本市出身の世界で活躍が期待される五輪選手や五輪候補選手を支援する。特に東京2020オリンピック・パラリンピック日本代表に選ばれる見込みのある選手を重点的に応援します。	内部評価
★ 実績成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、東京2020オリンピック・パラリンピックが1年延期になりましたが、引き続き日本代表に選ばれる見込みのある選手を重点的に応援します。	○
課題	東京2020オリンピック・パラリンピック終了後の支援についても検討していく必要があります。	◎ 十分達成 ○ おおむね達成 △ やや不十分 × 達成できず



東京2020オリンピック陸上選考レース



東京オリンピック2020陸上競技

# IV 教育委員会の施策 外部評価

# (1)外部評価一覧表

第2次海津市教育振興基本計画 「基本目標」	
【基本目標の施策】	担当課
基本施策	外部評価
<b>「基本目標1」 子ども・子育て支援の充実</b>	
<b>【施策1】 就学前教育・保育の総合的な提供</b>	こども課
① 認定こども園における幼児教育の推進	継続・妥当
② 小学校との連携	
③ 配慮が必要な子どもへの支援	
④ 就学前教育・保育施設の整備	
⑤ 保育教諭の資質向上	
<b>【施策2】 子育て家庭への支援の充実</b>	こども課
① 多様な子育て支援サービスの充実	継続・妥当
② 相談体制の充実	
③ 情報提供の充実	
<b>「基本目標2」 学校教育の充実</b>	
<b>【施策3】 生きる力を育む教育の推進</b>	学校教育課
① 「軸」を明確にした学校経営の推進	継続・妥当
② 確かな学力を身につけることで「生きる力」を育む指導の充実	
③ 基礎的な知識・技能を着実に身につける指導や取組の充実	
④ 思考力・判断力・表現力などを育成する指導や取組の充実	
⑤ 学びに向かう力を高める取組の充実	
⑥ 多様なニーズを要する子どもに対応した教育機会の充実	
⑦ 外国語活動の充実	
⑧ キャリア教育の推進	
⑨ 郷土学習の推進	
<b>【施策4】 教育環境の整備・充実</b>	教育総務課・学校教育課
① 学校施設の老朽化対策及び長寿命化対策の推進	継続・妥当
② 教育環境における情報機器設備の充実	
③ 安全な通学路の確保	
<b>【施策5】 豊かな心の育成</b>	学校教育課
① 道徳教育の充実	継続・妥当
② 多様な体験活動の推進	
③ 人権同和教育の推進	
<b>【施策6】 教職員の資質の向上</b>	学校教育課
① 「海津市教育のスタンダード」の活用	継続・妥当
② 教職員研修の充実	
③ 特別支援教育に関わる教職員の研修	
④ 研究授業や公開授業、交流授業などの促進	
⑤ 子どもと向き合う時間の確保	
<b>【施策7】 学校給食の充実及び食育の推進</b>	教育総務課(給食センター)
① 地域全体で取り組む食育の推進	継続・妥当
② 学校給食の充実	
③ 学校給食の衛生管理と事故防止の徹底	
④ 学校給食センターの効率的な運用・整備	
⑤ 学校における事務負担の軽減	
⑥ 給食の提供における緊急対応	
<b>【施策8】 児童・生徒の減少に伴う課題の検討</b>	教育総務課
① 海津市小中学校の適正規模等に関する検討委員会の設置と協議	継続・妥当
<b>「基本目標3」 生涯学習環境の整備・充実</b>	
<b>【施策9】 継続的な学習・交流の場の形成</b>	社会教育課
① 生涯学習ニーズの把握	継続・妥当
② 学習情報の収集・整備	
③ 社会教育施設などの整備とネットワーク化	

第2次海津市教育振興基本計画 「基本目標」	
【基本目標の施策】	担当課
基本施策	外部評価
<b>「基本目標3」 生涯学習環境の整備・充実</b>	
<b>【施策10】 多様な学習機会の提供</b>	社会教育課
① 生涯学習活動と指導者の育成	継続・妥当
② 生涯学習の意識啓発	
③ 図書館や歴史民俗資料館などの学習機関の機能充実	
<b>【施策11】 新たな学習活動への支援</b>	社会教育課
① 学習活動を支援する人材の活用	継続・妥当
② 高齢者のもつ技能の伝承	
③ 学習機会の充実	
<b>「基本目標4」 青少年の健全育成・地域交流の推進</b>	
<b>【施策12】 地域で進める青少年の健全育成</b>	社会教育課
① 「こども健全育成指針」の推進	継続・妥当
② 子どもの生活習慣の確立に向けた支援	
③ 組織的な活動の充実	
④ 青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上	
<b>【施策13】 家庭と地域の教育力向上の推進</b>	社会教育課
① 「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進	継続・妥当
② 子育て学習の提供と家庭教育相談体制の充実	
③ 地域と連携した活動の充実	
<b>【施策14】 地域間交流・多文化共生の推進</b>	社会教育課
① 交流教育の充実	継続・妥当
② 多文化共生の推進	
<b>「基本目標5」 文化の振興</b>	
<b>【施策15】 文化の継承と発展</b>	社会教育課
① 指定文化財の保存・保護活用、後継者の育成	継続・妥当
② 文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究	
③ 文化資源の活用	
④ 文化財指定基準の運用	
<b>【施策16】 豊かな自然と文化財を愛する心の育成</b>	社会教育課
① 文化財の情報発信と周知	継続・妥当
② 自然・歴史資源の発見と活用	
③ 歴史民俗資料館運営の充実	
<b>【施策17】 生きがいと共生、文化芸術活動の推進</b>	社会教育課
① 市民文化活動への支援	継続・妥当
② 文化や芸術に親しむ機会の提供	
③ 市民参加型による芸術創作活動の奨励	
④ 多様な文化芸術活動の支援	
<b>「基本目標6」 スポーツ活動の振興</b>	
<b>【施策18】 スポーツ活動の充実</b>	スポーツ課
① 子どものスポーツ活動の推進	継続・妥当
② 高齢者や障がい者スポーツ活動の推進	
③ 市民参加型スポーツ活動の推進	
④ スポーツ観戦機会の創出	
<b>【施策19】 スポーツ施設・備品の充実</b>	スポーツ課
① 体育施設の充実	継続・妥当
② スポーツ備品の充実	
<b>【施策20】 スポーツ指導者・団体の育成</b>	スポーツ課
① スポーツ団体の育成	継続・妥当
② 指導者の育成と確保及び活用	
③ 競技スポーツ活動の支援	



## (2) 外部評価（学識経験者による意見）

岐阜大学教授  
小林 一貴

### 海津市教育委員会点検評価について

「令和2年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書」に基づき、6つの基本目標における施策に沿って意見を述べさせていただきます。

基本目標1の中の施策1、2については、「事業計画」に基づく実効性のある取り組みが行われており、子育て情報の発信等、ニーズに応じた支援が進められています。幼小の連携が求められる中、幼児教育・保育の質の向上を第一とした取り組みが求められます。

基本目標2の中の施策3、4に関しては、コロナ禍の困難な状況において、子どもに焦点化した指導、支援が進められています。また、教育機器の整備、通学路の環境整備が順調に進んでいます。施策5については、体験活動の工夫やコロナ禍における日常生活に目を向けながら、適切な取り組みが行われています。施策6に関しては研修を通じた課題への取り組みがなされ、働き方の検討と合わせて細やかな指導をお願いいたします。施策7では、学校、地域、家庭の好循環のシステム作りを通じた食育が一層期待されます。施策8では学校規模の適正化の協議とともに、統合後を見通した丁寧な議論が求められます。

基本目標3における施策9、10、11では、講座の開講が難しい状況でしたが、市民の参加による生涯学習が進められています。図書館のサービスの多様化を通して、さまざまなかたちで市民が参加し、学ぶ機会がもたらされつつあります。

基本目標4において、施策12、13、14では、保護者や地域との協力関係の構築と維持に向けた積極的な取り組みが重ねられてきています。「子育て親育ち講座」を「就学時検診時」に合わせるなど、家庭とともにスタートをきる体制作りがとれている点が評価されます。交流行事の実施が難しい状況でしたが、子どもたちにとって大切な機会であり、よりよい交流機会の実現が図られていくことを願います。

基本目標の5の中の施策15、16、17では、大切な文化的資源の維持、活用に向けた様々な角度から魅力の掘り起こしが図られつつあります。文化活動へ参加する重要性が再確認されつつあり、身近で価値ある参加のあり方が議論されることを期待します。

基本目標6の施策18、19、20では、事業実施が困難な状況ではありましたが、様々な世代の方が関心を持って参加できるような運営が模索されつつあります。また、施設の統廃合が進む中、新たなかたちでスポーツ活動の充実の実質的な内容の検討が求められます。スポーツクラブの運営は着実に充実しつつある一方、それぞれが抱える問題を共有し支援できるような連携のあり方が一層重要になると考えます。

全体として、コロナ禍において、取り組みが難しい状況にありながら、事業の継続・発展、問題の解決に向けた丁寧な取り組みが行われています。いくつかの施策に関わって施設の統廃合が進められていますが、統廃合の後の課題をどのように解決していくかが問われる状況にあります。現状の取り組みを基盤としつつ、デジタル化による補完のあり方等を視野に入れながら、多様な角度から参加の仕方、関わり方について議論を重ねていく必要性が増してきていると考えます。

---

令和2年度 教育委員会の事務に関する点検評価報告書

令和3年11月発行

発行/海津市教育委員会

〒503-0695

岐阜県海津市海津町高須 515 番地

TEL 0584-53-1467 Fax 0584-53-1608

<http://www.city.kaizu.lg.jp/>